



# 山 辺 町

保存版

# 防災

## マップ 2026年 3月発行



山辺町防災マップ

自分の命は自分で守る「自助」、  
地域の安全は地域で守る「共助」、  
行政が行う防災対策である「公助」で  
災害に強い町へ。

助け合いながら  
避難行動を! P.1

警戒レベルを確認して  
逃げ遅れゼロへ! P.2

避難行動判定フロー P.3

避難行動ガイド P.4

マイ・タイムライン P.5

風水害対策について P.7

氾濫(洪水)・  
浸水害について P.8

土砂災害について P.9

防災気象情報 P.10

地震対策について P.11

わが家の防災対策 P.12

非常時持出品の  
準備&チェック P.13

わが家の  
「防災・緊急情報」メモ P.14

関係機関一覧 P.15

避難所・避難場所一覧 P.16

防災マップの見方 P.17

山辺町 全図 P.18

詳細図  
(No.1~No.12) P.19

災害情報の入手方法 巻末

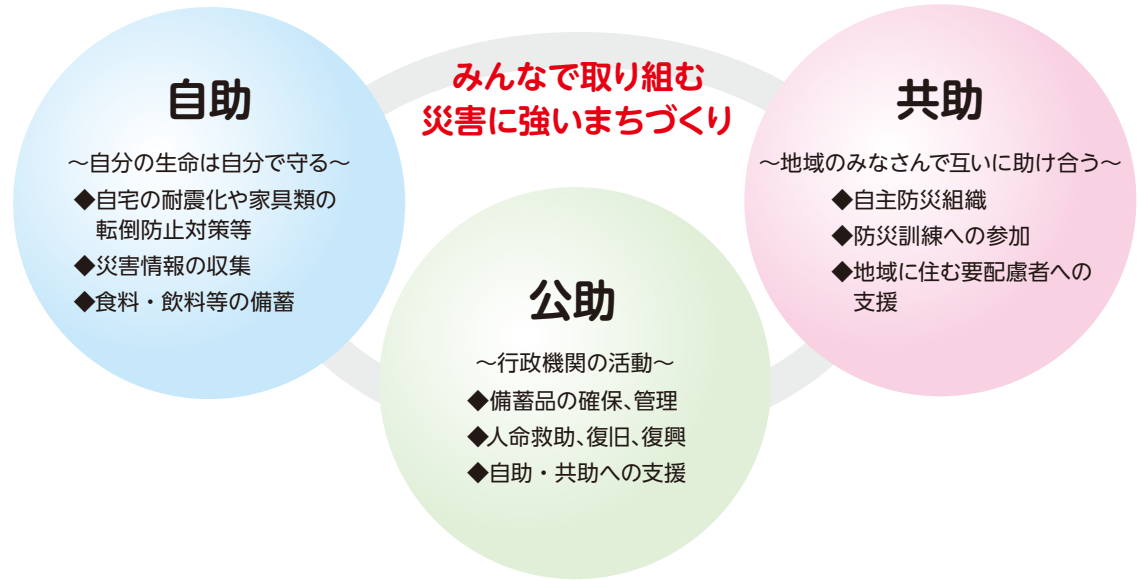


# 助け合いながら避難行動を!

「地域で防災」を合言葉に、地域の防災力を高めよう!

## 地域の防災力を高める 自助・共助・公助

地震や洪水、土砂災害、台風等の自然災害による被害を最小限に抑えるためには、自分の命は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政の救助・支援「公助」の取り組みが必要です。大規模災害時では、公助の機能に限界がありますので、「自助・共助・公助」が連携することにより、住民と行政が一体となって地域防災力を高めることが重要となります。いざという時に備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。



## 自主防災組織の活動で地域防災力の向上を!

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯意識のもと、地域住民が自主的に防災・減災活動を行う組織です。地域で自主防災組織を作るときや活動するときは、町に相談してください。訓練経費などの補助をしています。



### 自主防災組織の活動に参加しましょう

町内会の代表者や役員が、自主防災組織の代表者や役員を兼ねている場合が多く、町内会の活動と一体的に防災活動を行っています。

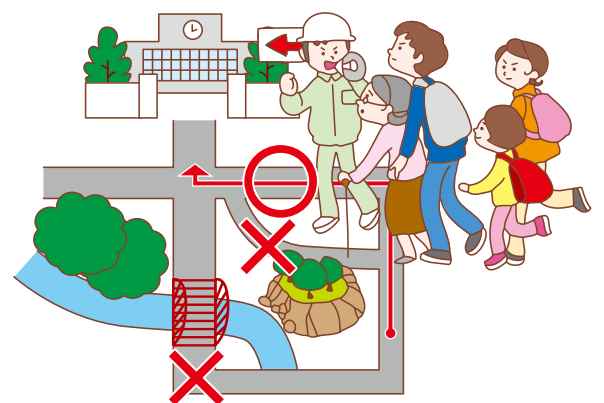
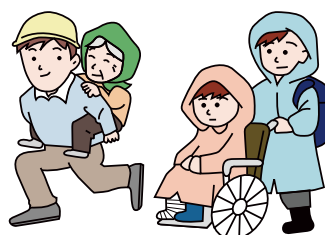
あなた自身とあなたの地域を守るために自主防災組織の活動に積極的に参加して助け合う体制を築きましょう。

- 地域の防災訓練や活動に積極的に参加し、防災の知識やAED・消火器などの使い方を身につけましょう。
- 日頃からご近所の方々とのコミュニケーションを深めましょう。
- 災害時に備え、日頃から支援が必要な人を知っておきましょう。
- 地域で初期消火や避難誘導、救出・援護等ができるよう、必要な資機材を整備しておきましょう。
- 災害時には、避難誘導や、救出・救護活動、避難所運営に協力しましょう。
- お年寄りや体の不自由な方などの避難に協力しましょう。

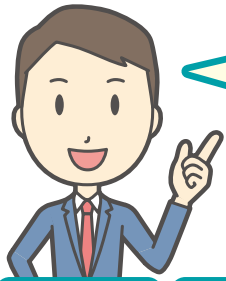


## 「避難行動要支援者」制度

高齢者、障がい者など災害時において特に支援が必要な人(避難行動要支援者)の名簿を作成しています。この名簿を地域の支援者と共有することで、普段の見守りや災害があったときの手助けなど、地域の助け合い(共助)の力を強くする体制づくりを進めています。



# 警戒レベルを確認して逃げ遅れゼロへ!



令和8年より気象の警報などが次のように大きく変わります。  
 それぞれの**警戒レベル**に相当する情報を、**早めの避難行動の判断**に役立ててください。  
 町からの**避難指示等の発令に留意**するとともに、避難指示等が発令されていなくとも**自ら避難の判断**をしてください。  
 警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、**警戒レベル3や4の段階で避難することが重要です。**

警戒レベル	大雨浸水 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ 崩れや土石流	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難!〉 ~~~~~					
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	危険な場所から全員避難	避難指示
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	自らの避難行動を確認	大雨注意報・氾濫注意報 (気象庁)
1	早期注意情報			災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

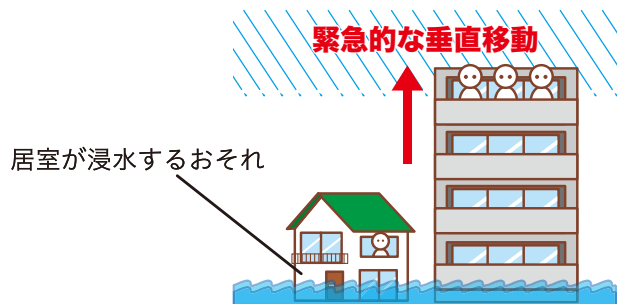
※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません  
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです  
 ※3 新しい気象の警報などは、令和8年5月下旬(予定)より運用されます

## 風水害から身を守るための避難行動

大雨や台風は、震災と異なり、接近時期や規模を事前にある程度予測することができます。日頃から自宅や学校・職場などの生活環境にどのような災害リスクがあるか、防災マップなどで確認し、いざ大雨や台風が迫ってきた場合は、早めに避難行動をとれるようにしましょう。

### 警戒レベル5（緊急安全確保）の発令で住民がとるべき行動のイメージ

**洪水** 浸水しないよう少しでも高い場所へ移動 など



**!** 土砂災害は立退き避難が原則

**土砂災害** 土砂災害の危険がある場所から少しでも離れた場所へ移動 など



※崖から離れた部屋にも土砂が流れ込むおそれがあります。

### 警戒レベル4（避難指示）の発令で住民がとるべき行動のイメージ

**洪水** 浸水しない高い場所へ移動 など



**土砂災害** 土砂災害の危険がない場所へ移動





# 避難行動判定フロー



「自らの命は自ら守る」意識を持ち、  
自宅の災害リスクととるべき行動を  
確認しましょう。

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取り組みましょう**

防災マップ※1で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※1 防災マップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※2、自宅の外に避難が必要です。

例外

※2 浸水の危険があっても、  
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。  
②浸水する深さよりも高いところにいる。  
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。  
※2 土砂災害の危険があっても、十分堅牢な集合住宅等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3が出たら、町が指定している**指定避難所に避難**しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4が出たら、町が指定している**指定避難所に避難**しましょう

# 避難行動ガイド

町では、住民の生命に危険が及ぶと判断した場合、「高齢者等避難」「避難指示」を発令し、住民の避難を促します。避難指示等が発令するときは、様々な状況を総合的に判断して発令します。

## 避難とは・・・

避難は、災害から命を守るための行動であり、避難行動には次のような方法があります。

屋外が安全で移動できる状態のとき			屋外が危険な状態のとき
指定避難所・指定緊急避難場所への移動	警戒区域等内の自宅などから安全な場所への移動 (親戚や友人の家など)	近隣の強固で高い建物などへの移動	建物内の安全な場所での待避 (家屋内での垂直移動) <small>やむを得ず、家屋内に留まった場合、安全を確保する避難行動として、洪水対策では建物の2階以上高いところへ、土砂災害対策では、斜面と反対方向の高い階への移動が有効です。</small>

### 避難指示等の種類と、住民の対応

避難指示等は、災害の種類ごとに避難行動が必要な地域を示して発令しますが、地域やご家庭などの事情によって、「避難指示」を待たずに避難が必要と考えられる場合は、「**自主避難**」をお願いします。

区分	住民の対応
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難がまだの人は、直ちに避難をする。</li> <li>避難をすることが、かえって危険と判断される場合は、屋内で安全を確保する。</li> </ul>
高齢者等避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象情報に注意を払い、避難の必要について考え、避難が必要と判断した場合は自主避難をする。</li> <li><b>要支援者(障がい者や高齢者で避難行動が困難な人と、その支援者)は、この段階で避難をする。</b></li> </ul>

※「**自主避難**」とは・・・避難指示等を待たず、自主的に避難施設、親戚や友人の家などの安全な場所へ避難することです。その際は、できるだけ必要な食料、飲み物、日用品などを持参するようにしてください。

## 避難行動の留意点

### ！ 避難するときの服装

- ヘルメット、帽子等をかぶる。
- 非常持ち出し袋はリュックサックに入れて背負う。  
(両手が使えるように)
- 長袖・長ズボンを着用する。
- 軍手や手袋をはめる。
- 靴は底の厚い、履き慣れたものを着用する。
- やむをえず夜間に避難の際は懐中電灯を持つ。



### ！ 避難時のポイント

- 避難する前にもう一度火元を確認する。
- ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。
- 持ち出す荷物は最小限にする。
- 近所の人に声をかけ、複数人で行動する。
- 避難する時は、狭い道やブロック塀、自動販売機のそば、川べり、ガラスや看板の多い場所を避ける。
- 決められた最寄りの避難場所へ徒歩で移動する。
- 子ども、障がい者、高齢者など避難行動要支援者がはぐれないよう配慮をしながら避難する。



# ！マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは？⇒災害時の自分の行動を時系列で整理した、自分で作る、自分のための計画表のこと!!

マイ・タイムラインは、台風接近などによって雨量が上昇した場合などに、一人ひとりがとる防災行動について、「いつ」「何をやるのか」を整理した個人の防災計画です。あらかじめ災害時の自分の行動をシミュレーションしておくことで、急な判断が迫られる災害時に、自分自身の行動のチェックや、避難の判断をサポートするツールとして役立てることができます。

(例)

時間	警戒レベル	主な備え	記入例	マイ・タイムライン
数日～1日前	LEVEL 1 ●台風等情報(※随時発表) ●早期注意情報 ・低気圧に関する気象情報(随時)	最新情報を確認 ○テレビで天気予報を確認 ○家族全員の今後の予定を確認 ○防災グッズの確認(不足していれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く	●家族の今後の予定を確認する。 ●備蓄品を確認する。	いつ、どんな行動をとったらいいか考えて書き込んでみましょう。
半日～数時間前	LEVEL 2 ●レベル2大雨注意報 ●レベル2氾濫注意報 ・台風等に関する今後の見通し ●上流域でのレベル3大雨・氾濫警報  ●レベル2土砂災害注意報	○家の周りに風で飛ばされそうなものがないか確認 ○家族全員の今後の予定をもう一度確認 ○車等にガソリンを入れておく  ハザードマップなどで避難方法を確認 ○万一来に備え、親戚・知人へ避難の受入について相談 ○ハザードマップで避難場所、避難経路を確認  ○携帯電話を充電 ○避難に時間がかかる場合は避難の準備を開始 ○避難所への避難を検討 ○持ち出し品の準備・再確認	●植木鉢や物干し竿などを室内に取り込む。 ●浸水が想定される実家の両親へ連絡する。 ●ガソリンを入れておく。 ●貴重品をまとめておく。 (現金、通帳、印鑑、重要な書類など)  ●いとこの家に避難させてもらえるか相談する。 ●隣の1人暮らしのおばあちゃんに声をかける。 ●携帯電話を充電する。  ●実家の両親を迎えに行く。	
数時間～3時間前	LEVEL 3 ●レベル3大雨警報 ●レベル3氾濫警報 ●レベル3土砂災害警報 <b>高齢者等避難 発令!</b> → 緊急速報メール ※プッシュ型のメールが配信 ・避難開始の目安になります	高齢者などは早めに避難 ○携帯メールなどで避難準備情報を受信 ○避難に時間がかかる方は避難を開始(避難場所、親戚宅等) ○テレビで洪水予報の確認	●いとこの家に避難させてもらえるか相談する。 ●隣の1人暮らしのおばあちゃんに声をかける。 ●携帯電話を充電する。  ●実家の両親を迎えに行く。	
2時間～0時間前	LEVEL 4 ●レベル4大雨危険警報 ●レベル4氾濫危険警報 ●レベル4土砂災害危険警報 <b>避難指示 発令!</b> → 緊急速報メール ※プッシュ型のメールが配信	危険な場所から全員避難 ○携帯メールなどで避難指示を受信 ○町内の避難所へ避難する または、自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	●自宅の2階へ備蓄品を移動する。  ●あらかじめ大事なものを高いところへ避難させる。  ●自宅の2階へ移動する。  ●テレビやインターネットで状況を確認する。	
災害発生	LEVEL 5 緊急安全確保 発令! → 緊急速報メール ※プッシュ型のメールが配信	命を守る最善の行動を! ○すでに災害が発生 または 切迫している状況	●すでに災害が発生していてもおかしくない状況 ○テレビで氾濫情報を確認 ○外に出ず、自宅内の安全な場所へ待避	災害が発生する前に! 記入例を参考に、避難時の行動を書いてみましょう。家族構成やペットの有無などによって様々なマイ・タイムラインができあがります。

必要項目に記載し、チェックしましょう。

## ハザードマップを見て自宅周辺を確認

### ■洪水(河川)

- ・自宅は洪水浸水等想定区域にあるか
  - ある \_\_\_\_\_ m
  - ない
- ・自宅は河岸侵食・氾濫流区域にあるか
  - ある
  - ない

### ■土砂

- ・自宅は土砂災害警戒区域内にあるか
  - ある
  - ない

## 避難するタイミング、避難する場所

実際に避難するときどこへ避難するのか、危険を感じたらどこへ逃げるのか考えてみましょう。

■風水害に関する情報を収集し、危険を感じたり、避難情報を入手したらわが家は、

- 自宅に待機し、状況に応じて屋内安全確保します。
  - \_\_\_\_\_ へ立退き避難します。移動時間: \_\_\_\_\_ (指定避難所等)
- (※むやみに外出せず、情報収集に努める)

## 家族で話し合っシミュレーション

雨が強くなる前に行うことを完了させる時期

水位等の状況を把握しつつ、避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

自然が相手だから、マイ・タイムラインどおりに進行するとは限りません。行動の目安として備えましょう。気象情報・避難情報などはこまめにチェックしましょう。



# 風水害対策について

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。  
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

## 大雨注意報・警報の発表基準

### レベル2 大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合。

### レベル3 大雨警報

大雨によって**重大な災害**が起こるおそれがあると予想される場合。

### レベル4 大雨危険警報

大雨によって**重大な災害**が起こるおそれが高いと予想される場合。

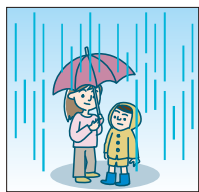
### レベル5 大雨特別警報

数十年に一度の降雨量となる大雨により、**重大な災害が起こるおそれが著しく大きい状況**と予想される場合。

## 雨の強さと降り方

(1時間雨量：mm)

### 10～20の雨



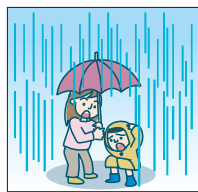
地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。

### 20～30の雨



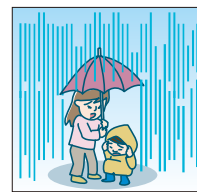
土砂降りの雨のときは、傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。テレビやラジオなどで今後の様子を注意し、長引きそうなら避難の心構えをしましょう。

### 30～50の雨



バケツをひっくり返したような激しい雨のときは、山崩れやがけ崩れが起こりやすくなります。避難の準備をしましょう。

### 50～80の雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川は氾濫し、水害発生の可能性が高まります。

### 80以上の雨



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大規模な災害が発生する恐れが強く、**厳重な警戒が必要です**。

## 風の強さと吹き方

(平均風速：m/秒)

### 10以上～15未満



風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。

### 15以上～20未満



風に向かって歩けない。転倒する人もいる。

### 20以上～25未満



しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。

### 25以上～



立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

## 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- テレビ・ラジオなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、注意しましょう！



## 竜巻から身を守る

### 竜巻とはこのような現象です

- 竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです。
- ろうと状や柱状の雲を伴っています。
- 台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生します。
- 短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします。被害は、長さ数km、幅数十～数百mの狭い範囲に集中します。
- 移動スピードが非常に速い場合があります。  
過去に発生した竜巻の中には、時速約90km(秒速25m)で移動したものもあります。

### 竜巻の発生時に、よく現れる特徴

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

### 速やかに情報を把握するために

- テレビやラジオの気象情報や町からの防災放送などで提供される防災情報に注意してください！



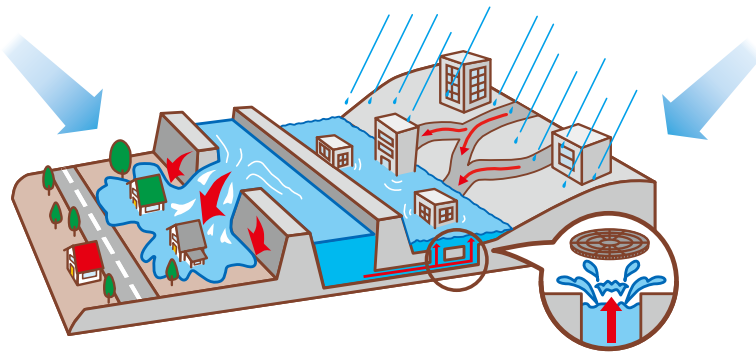
# 氾濫(洪水)・浸水害について

## 氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

### 外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増するため、最大の注意が必要。

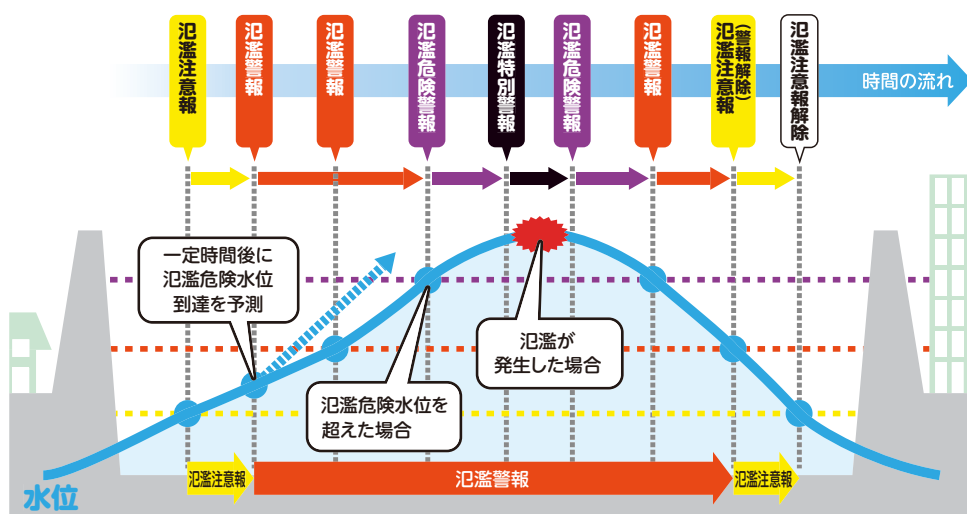


### 内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれず溜まって起きる洪水。的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要。

## 河川の危険水位と氾濫予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から氾濫予報が発表されます。自治体はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



河川名	須川	小鶴沢川
観測所	鮪洗	大寺
氾濫危険水位 (レベル4水位)	16.3	1.3
避難判断水位 (レベル3水位)	15.9	1.1
氾濫注意水位 (レベル2水位)	14.0	1.0
水防団待機水位	13.0	0.7

(単位：m)

## 避難行動のポイント

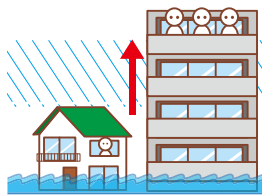
### ！ 浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険。気象予報や河川氾濫予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。



### ！ 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。



### ！ やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁。水中で脱げづらい紐靴などが適している。また、氾濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。



## 浸水した場合の深さの目安




### ● 歩行移動

一般的に膝の高さである50cmを超えると水の中を歩行することが困難になる可能性があります。

### ● 自動車移動

30cmを超えるとマフラーが水没してしまい、排気ができなくなるためにエンジンが停止する可能性が高まるので注意が必要です。

### 地下道(アンダーパス)にも警戒!

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行困難になります。該当箇所にはを表記しております。

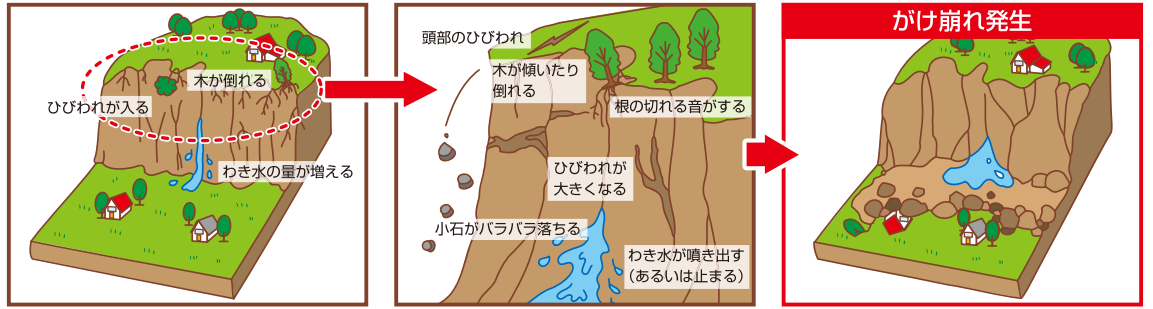


# 土砂災害について

## 土砂災害の種類

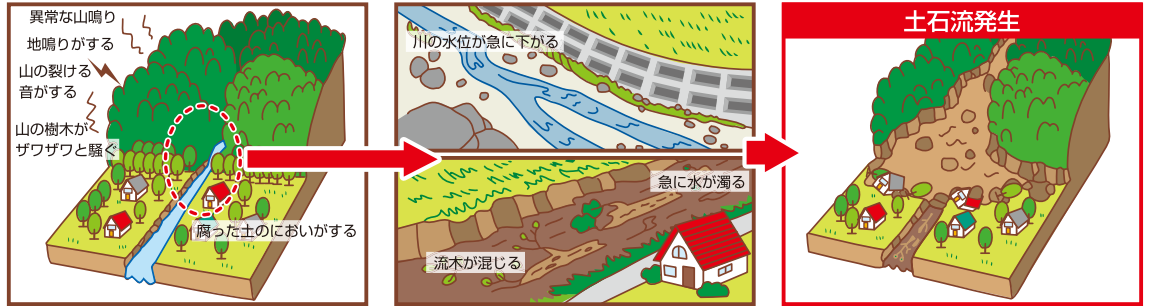
### がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



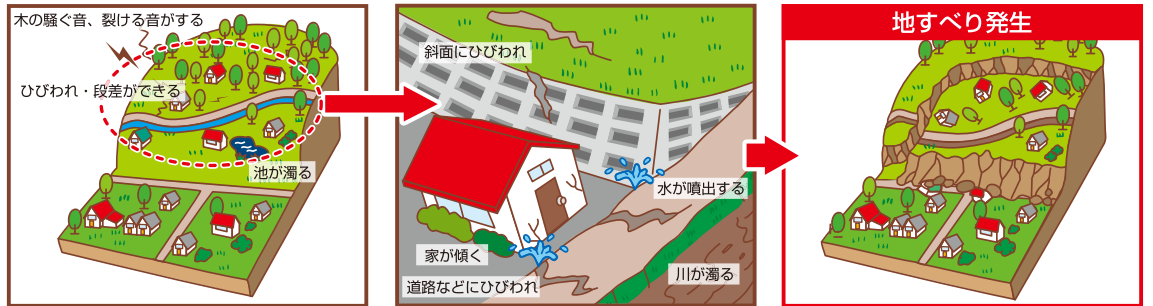
### 土石流

山腹・谷底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。

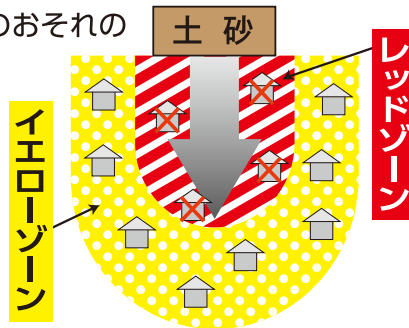


※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

## 土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

- **土砂災害 特別警戒区域(通称：レッドゾーン)**  
建築物に破損が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域
- **土砂災害 警戒区域(通称：イエローゾーン)**  
土砂災害のおそれがある区域



新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」

警戒区域にまだ指定されていない土砂災害が発生する恐れのある箇所が公表されています。



## 避難行動のポイント

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。

上記の前兆現象は、経験則として土砂災害発生の前に感じられるものとして知られていますが、特に警戒区域内においては避難の猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。

- 1 土砂災害警戒区域内、また指定が無くとも「谷の出口」や「がけの下」からは、いち早く退避する。
- 2 指定避難所までの移動が困難な際は、近隣の堅牢な建物の高層階へ避難する。



- 3 外出にも危険が伴う状況で、やむなく自宅に留まる場合は、2階以上のできるだけ山側から離れた部屋に移動する。

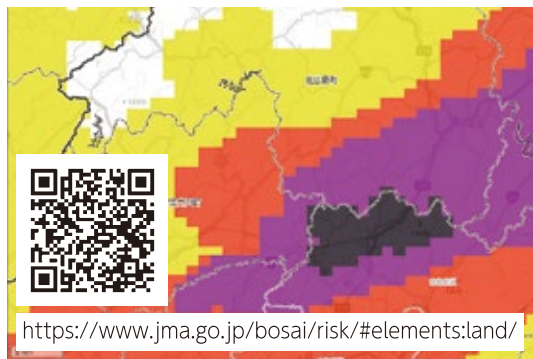


# i 防災気象情報

## キキクル(危険度分布)

どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。

土砂キキクル 土砂災害の危険度分布

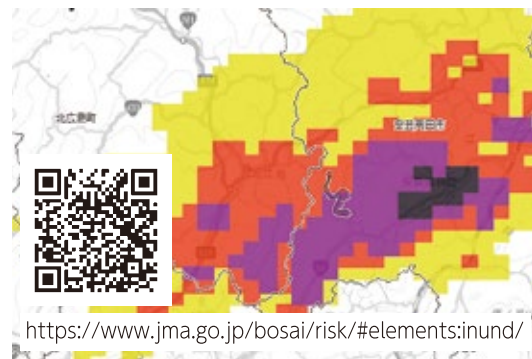


<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>

紫：崖・溪流の近くは危険



浸水キキクル 浸水害の危険度分布

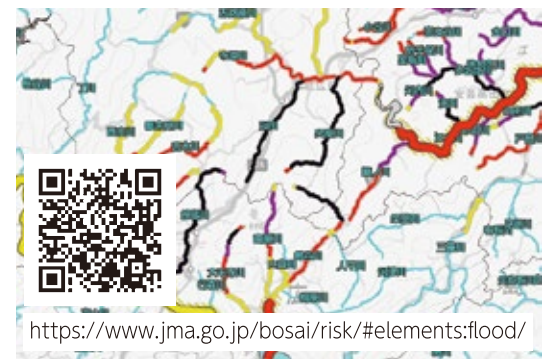


<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund/>

紫：低地は危険

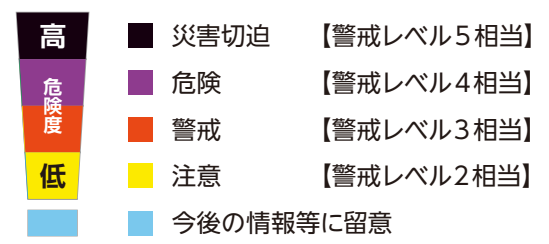


洪水キキクル 洪水災害の危険度分布



<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/>

紫：河川沿いは危険



※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元コードの読み取りができない場合があります。

## レベル4土砂災害危険警報

レベル4大雨危険警報の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、気象台が発表しています。

危険な場所からの避難が必要な警戒レベル4に相当します。

レベル4土砂災害危険警報が発表された市町村内で

危険度が高まっている詳細な領域は土砂キキクルの危険度分布で確認できます。

土砂災害によって命が脅かされる危険性が認められる土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、遅くとも該当領域に「危険」(紫色)が出現した時点で速やかに避難を開始することが大変重要です。周囲の状況や雨の降り方にも留意し、危険を感じたら躊躇することなく自主避難を行いましょう。

## 気象防災速報(記録的短時間大雨)

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測(地上の雨量計による観測)したり、解析(気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析・解析雨量)したりしたときに発表します。この情報は、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために、雨量基準を満たし、かつ、大雨警報発表中に、キキクル(危険度分布)の「危険」(紫)が出現している場合に気象庁から発表されます。

この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこで災害発生の危険度が高まっているかをキキクル(危険度分布)で確認できます。

## 気象防災速報(線状降水帯発生、線状降水帯直前予測)

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報です。警戒レベル4相当以上の状況で気象庁から発表されます。顕著な大雨に関する情報が発表されていなくとも、広範囲で激しい雨が長時間継続するような場合には、甚大な災害が発生する場合があります。線状降水帯発生等の情報を待つことなく、災害発生の危険度の高まりを示すキキクル(危険度分布)を活用いただくことが極めて重要です。

(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)



# 地震対策について

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル



**！とにかく自分の身を守ろう！**

### 地震だ！ まず身の安全

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、姿勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。



**2~5分**

**！しっかり火の始末で、火災防止！**

### 大揺れがおさまった

台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉めましょう。

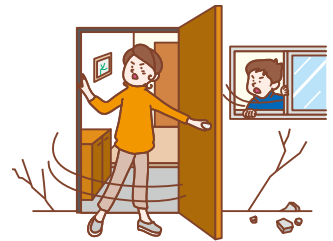


**5~10分**

**！わが家の安全確認、確保！**

### 火の始末のあと

家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。また、避難可能な出口も確保しましょう。



**10分~半日**

**！隣近所の安否確認、助け合い！**

### 外に出たあと

家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。



**半日~3日**

**！2,3日は自分でしのぐ！**

### 避難後、数日間

地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。この間、日頃から、生活必需品(非常用品)を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。

## 屋内にいた場合

### 家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 揺れがおさまったら火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要支援者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

### 商店・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

### 集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



## 屋外にいた場合

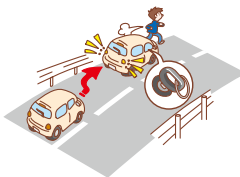
### 路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難する。
- 近くに空き地などがなければ、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



### 車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要な時は、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。



### 公共交通などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外に出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

# わが家の防災対策

## 家の中の安全対策

●事前に準備できているか、チェックしましょう。

### ！ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。



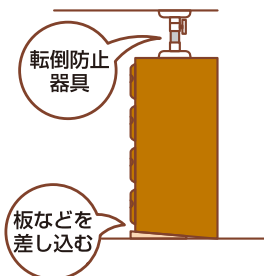
### ！ 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋にはできるだけ家具を置かない

就寝中に地震に襲われると家具が倒れるおそれがあり危険。やむをえず置く場合は、なるべく背の低い家具にするとともに、寝ている場所に倒れないよう、また出入口をふさがないように、向きや配置を工夫する。



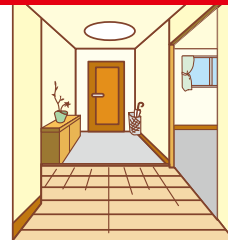
### ！ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



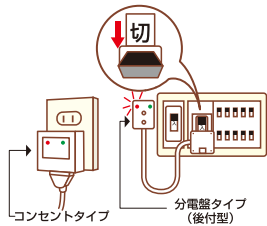
### ！ 安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



### ！ 電気火災発生防止

地震による火災の原因の多くは電気に関連。電気ストーブや電気コンロの転倒や、停電復旧時の通電火災(破損した電気コードのショートによる出火など)がある。電気火災を防ぐためには、感震ブレーカーの設置が有効。



### ！ 手の届くところに防災品を備える

夜間就寝時、停電になると周囲の確認ができず危険。地震の場合はガラスが散乱したり、部屋に閉じ込められることもある。普段寝る場所から手の届くところに懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを。

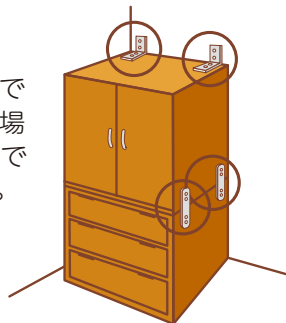


## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

●事前に準備できているか、チェックしましょう。

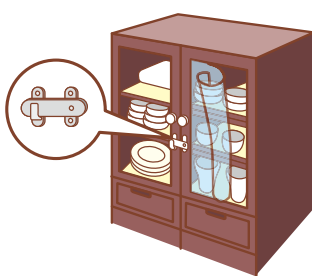
### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



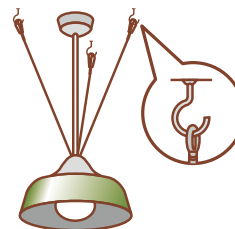
### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



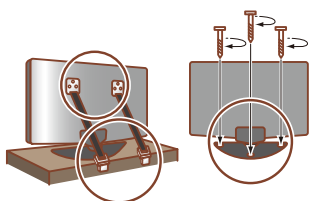
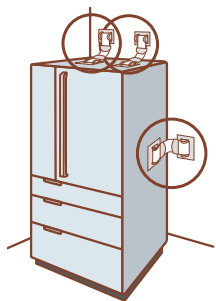
### 照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



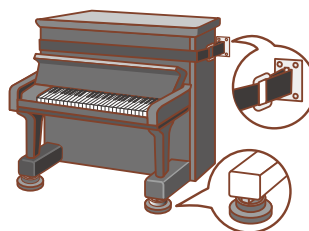
### 冷蔵庫

所定の取り付け場所(運搬用取っ手など)を転倒防止ベルトで壁や柱に固定する。



### テレビ

テレビ台とテレビを直接固定するのが有効。脚などに専用の取り付け箇所がある場合はボルト等で取り付け、そうでないものは転倒防止ベルトなどで固定する。



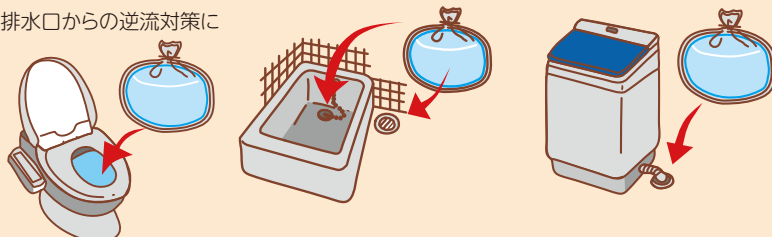
### ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

## 住宅の浸水被害を防ぐには

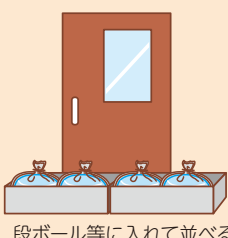
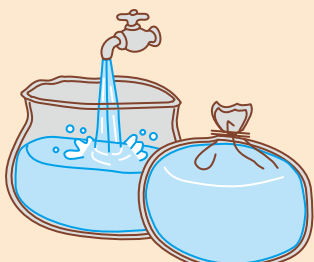
浸水深が小さいときは、家庭にあるものを使って、水の侵入口となる場所を塞ぐことで水の侵入を減少させることができます。トイレなどの逆流防止にも有効です。\*実施の際には避難の妨げにならないように気をつけてください。

排水口からの逆流対策に



### 「水のう」の作り方

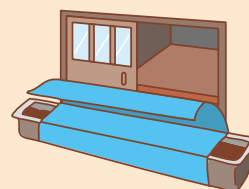
40L程度のゴミ袋を二重にして半分程度の水を入れる  
空気を抜いて口をしぼる



段ボール等に入れて並べる



長めの板状のものと組み合わせ止水域に



土を入れたプランターをレジャーシートなどで包むのも有効

# 非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検をしておきましょう。

## 非常時持出品(例)

事前に準備できているか、チェック☑しましょう。

### 情報収集用品

- ラジオ
- 電池(多めに用意)
- 携帯電話(スマートフォン)  
※充電器も
- モバイルバッテリー

### 非常食品等

- 非常用食品
- ミネラルウォーター

### 懐中電灯

- 懐中電灯  
(できれば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

### 救急医療品



- 常備薬
- きず薬
- かぜぐすり
- 鎮痛剤
- ばんそうこう
- 包帯
- 胃腸薬

### 衛生用品



- マスク
- 消毒液(石けん等)
- 体温計
- 使い捨てのビニール手袋
- ウェットティッシュ、ティッシュ
- ペーパータオル

### 貴重品



- 現金
- 印鑑
- マイナンバー  
カード
- 資格確認書
- お薬手帳
- 預貯金通帳
- 免許証
- 権利証書

### その他

- 衣類  
(下着・上着など)
- 生理用品
- 缶切りやナイフ
- 紙皿
- 水筒
- ヘルメット
- 軍手
- 防災マップ(本書)
- タオル
- 紙おむつ
- 紙コップ
- 雨具
- ライター
- ラップフィルム  
(止血や食器に  
かぶせて使う)
- 使い捨てカイロ
- 災害用トイレ(携帯トイレ)

### 乳幼児のいるご家庭

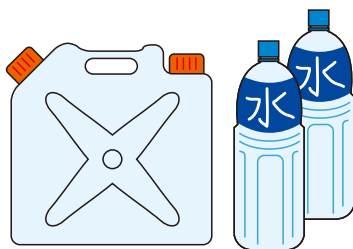
- 液体ミルク  
(又は粉ミルク+  
軟水や蒸留水)
- 離乳食
- 哺乳瓶
- 紙おむつ
- おしりふき
- おもちゃ  
(お気に入りのもの)



## 非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの3日間~1週間を生活できるようにチェック☑しましょう。

### 飲料水



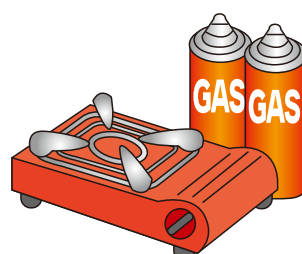
- 飲料水としてペットボトルやミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)又は貯水した防災タンクなど

### 非常食品



- お米(アルファ化米など)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ  
(菓子類など)

### 燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

### その他



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・  
からだふきシート・  
ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など
- 災害用トイレ(携帯トイレ)

~お手軽防災のススメ~

## ローリングストックをはじめよう!

誰でも簡単!手軽に3ステップ!  
これがローリングストックだ!

**ローリングストック**とは、普段使う**食料**や**日用品**を、もしもの場合に備えて**多めに買って置き**、古くなったものから日々の生活の中で使い、使った分を買い足すことで**常に新しいものを保存しておく**という、新しい災害用備蓄の考え方です。

「災害に備えなきゃいけないのはわかっているけど、何をすれば」とお考えのあなた。

まずは **ローリングストック** で、簡単・手軽に防災、はじめてみませんか。

出典: 山形県環境エネルギー部【防災危機管理課】ローリングストックをはじめよう!  
([https://www.pref.yamagata.jp/documents/1718/yamagata\\_rollingstock.pdf](https://www.pref.yamagata.jp/documents/1718/yamagata_rollingstock.pdf))を加工して作成しています。





# わが家の「防災・緊急情報」メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。  
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・町に情報を提供します。

氏名		電話	
住所			

指定避難所	
家族が離ればなれになった時の指定避難所	
地域の自主防災組織	

家族構成 連絡先	氏名	生年月日	電話(携帯・会社・学校)	住所	メモ	

家族の 緊急情報 ・ 救急メモ	氏名	血液型	持病・アレルギー	常備薬	かかりつけ医療機関	
【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。						
-----						
-----						

緊急時 連絡先	氏名	間柄	電話	住所	メモ	

## 災害用伝言ダイヤルの使い方

### 災害用伝言ダイヤルとは?

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。NTT「災害用伝言板(web171)」との連携により、伝言内容を相互に確認が可能。

伝言の録音	<b>171-1</b> -▲▲▲▲▲-■-◆◆◆◆◆ (被災地の方の電話番号)	伝言保存期間	運用期間終了まで
伝言の再生	<b>171-2</b> -▲▲▲▲▲-■-◆◆◆◆◆ (被災地の方の電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号あたり1~20件 (提供時にお知らせいたします)
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	固定電話、IP電話(050含む)、 携帯電話、PHS

# i 関係機関一覧

## 公共機関

(市外局番:023)

名称	所在地	電話番号	備考
山辺町役場	緑ヶ丘5	667-1111	
中支所	大字大蔵1164-1	666-2113	
作谷沢支所	大字築沢3102-1	666-2121	
保健福祉センター輝らりやまのべ	大字大塚836-1	667-1177	
安達峰一郎記念保育所	大字山辺2212	664-5066	
中央公民館	大字山辺1	664-6033	
山形市消防本部	山形市緑町4-15-7	634-1199	
山形警察署 山辺駐在所	大字山辺343-7	664-5009	

## 学校関係

(市外局番:023)

名称	所在地	電話番号	備考
山辺小学校	大字山辺55	664-5005	
相模小学校	大字根際2283	664-5254	
山辺中学校	清水1-1	664-5028	
後藤学園やまべ幼稚園	大字山辺1502-3	664-6020	
仙英学園ゆりかご幼稚園	大字山辺5160	664-5355	

## ライフライン

名称	所在地	電話番号	備考
東北電力ネットワークコールセンター		0120-175-366	停電などの問い合わせ
NTT東日本		(固定電話から)113 (携帯電話などから)0120-444-113	電話の故障、 電話線の異常などの問い合わせ
最上川中部水道企業団	中山町大字長崎4848	023-662-2163	上水道の問い合わせ
災害用伝言ダイヤル		171	利用方法は14ページを参照

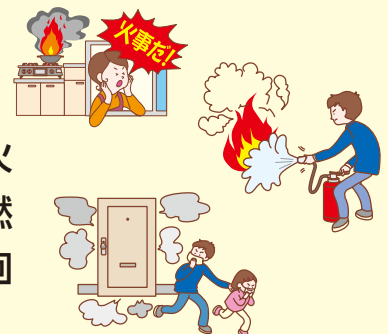
## 火災がおきてしまったときの対処法

### 第1に

家族や隣近所に火災を知らせ、援助（初期消火・119番通報）  
または避難を呼びかける。

### 第2に

自分で消火できそうな炎（天井の高さまでが限度）ならば、消火器・浴槽の水や水道水・濡らした大きめのタオルを炎ではなく燃えている物にかけて無理せずに消火活動。しかし、天井に火が回るまで約2分30秒！限界を感じたら速やかに避難を！！



※火災で一番恐ろしいのは、炎より『煙』です。煙を吸い込んでしまうと意識を失い、一酸化炭素中毒や窒息によって命に危険がおよびます。煙が充満する前に避難し、避難後も戻ることのないようにしましょう。

### 通報時のPoint

- ① 火事なのか救急なのかはっきりと伝えましょう
- ② 場所の確認（例：山辺町大字〇〇△△番地です。近くには〇〇工場があります。）
- ③ 何が燃えているのか（例：1階の台所にあるガスコンロから出火です。）
- ④ 逃げ遅れや家族構成（例：〇人家族で逃げ遅れはいません。）

# 避難所・避難場所一覧

指定避難所		災害の危険性がなくなるまで滞在したり、家に戻れなくなった方が一定期間滞在する施設です。*1						
NO	施設・場所名	所在地	災害種別ごとの適否			AED	*2 協力施設	掲載頁
			地震	洪水	土砂災害			
1	山辺小学校	大字山辺55	○	○	○	■		P25
2	旧大寺小学校	大字大寺1150	○	○	○	■		P25
3	旧作谷沢小・中学校	大字築沢636	○	○	×	■		P35
4	相模小学校	大字根際2283	○	○	×	■		P30
5	山辺中学校	清水1-1	○	○	○	■		P31
6	町民総合体育館	緑ヶ丘1	○	○	○	■		P30/P31
7	町武道館	緑ヶ丘1	○	○	○	■		P30/P31
8	中央公民館	大字山辺1	○	○	○	■		P25
9	大寺公民館	大字大寺1751-1	○	×	○	■		P24/P25
10	中支所	大字大蔵1173-1	○	○	○	■		P28
11	作谷沢支所	大字築沢3102-1	○	○2F	○	■		P35
12	相模公民館	大字根際2279-1	○	○	○	■		P30
13	近江公民館	近江3-37	○	×	○	■		P31
14	東部公民館	大字山辺2805-2	○	×	○	■		P25/P31
15	南部公民館	大字山辺1420	○	×	○	■		P31
16	北部公民館	大字山辺975	○	○	○	■		P25
17	保健福祉センター輝らりやまのべ	大字大塚836-1	○	×	○	■		P31
18	県立山辺高等学校	大字山辺3028	○	×	○	■	◆	P31

\*1 指定避難所の開設は、災害の発生場所、種類によって異なりますので、防災放送、HP、登録制メール、SNS等により周知します。

また、指定避難所は指定緊急避難場所を兼ねています。

\*2 「協力施設」は、2次避難所です。災害発生直後に開設する場所ではありません。

指定緊急避難場所		災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、危険から逃れるために一時的に避難する場所です。				
NO	施設・場所名	所在地	災害種別ごとの適否			掲載頁
			地震	洪水	土砂災害	
1	南公園	大字山辺1482-1	○	×	○	P31
2	長沼公園	緑ヶ丘4丁目1-3	○	○	○	P30/P31
3	芦沢公園	大字山辺5768	○	○	○	P25
4	中央公園	緑ヶ丘1	○	○	○	P30/P31
5	近江公園	近江6-2	○	×	○	P31
6	天神公園	大字山辺2117-1	○	×	○	P25
7	近江南公園	近江21-1	○	×	○	P31
8	大門ふれあい公園	大字山辺4931-1地先	○	×	○	P31
9	緑ヶ丘1号公園	緑ヶ丘3丁目1-15	○	○	○	P30
10	緑ヶ丘2号公園	緑ヶ丘5丁目5-1	○	○	○	P30
11	緑ヶ丘3号公園	緑ヶ丘6丁目7-14	○	○	○	P30
12	大塚天神古墳公園	大字大塚1133-1	○	○	○	P31
13	緑ヶ丘農村公園	緑ヶ丘5	○	○	○	P31
14	はったらモア広場	大字畑谷3951-1	○	×	○	P35
15	大寺ふれあい公園	大字大寺575	○	○	×	P24
16	旧鳥海小・中中学校	大字大蔵1100	○	○	○	P28



福祉避難所		一般の避難所では生活に支障をきたす要配慮者に対し、人員、設備面で一定の配慮がなされている施設です。避難所開設にあたっては災害対策本部で受入れ調整を行ってからとなりますので、福祉避難所へ直接避難することはできませんのでご注意ください。							
NO	施設・場所名	所在地	災害種別ごとの適否			AED	*3 協力施設	*3 要配慮者	掲載頁
			地震	洪水	土砂災害				
1	緑ヶ丘コミュニティセンター	緑ヶ丘2丁目4-5	○	○	○	■		○	P30
2	安達峰一郎記念保育所	大字山辺2212	○	×	○	■		○	P25
3	特別養護老人ホームやまのべ荘	大字大塚814-2	○	×	○	■	◆	○	P31
4	介護老人保健施設メルヘン	大字大寺1152-1	○	○	○	■	◆	○	P25
5	複合介護健康施設しらかば	大字山辺675-1	○	○	○	■	◆	○	P31
6	スマイルやまのべ	大字山辺1380	○	○	○	■	◆	○	P31
7	後藤学園やまべ幼稚園	大字山辺1502-3	○	○	×	■	◆	○	P30
8	仙英学園ゆりかご幼稚園	大字山辺5160	○	×	○	■	◆	○	P31

\*3 「要配慮者」と「協力施設」は、2次避難所です。災害発生直後に開設する場所ではありません。

## 浸水想定区域内及び土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設一覧

社会福祉施設、病院、学校など、災害時に配慮が必要な方が利用されている施設です。



# 防災マップの見方

## 防災マップとは

河川が氾濫した場合や山沿いで発生する土砂災害に備えて、被害の想定される区域などの情報を地図上に明示したものです。

また、近年各地で発生している様々な災害に対し、事前に備えることで日頃の心構えや被害を最小限にとどめるための基礎知識を掲載しました。ぜひご家庭内の目に付くところに常備していただき、災害予防対策に役立ててください。

## 防災マップの使い方

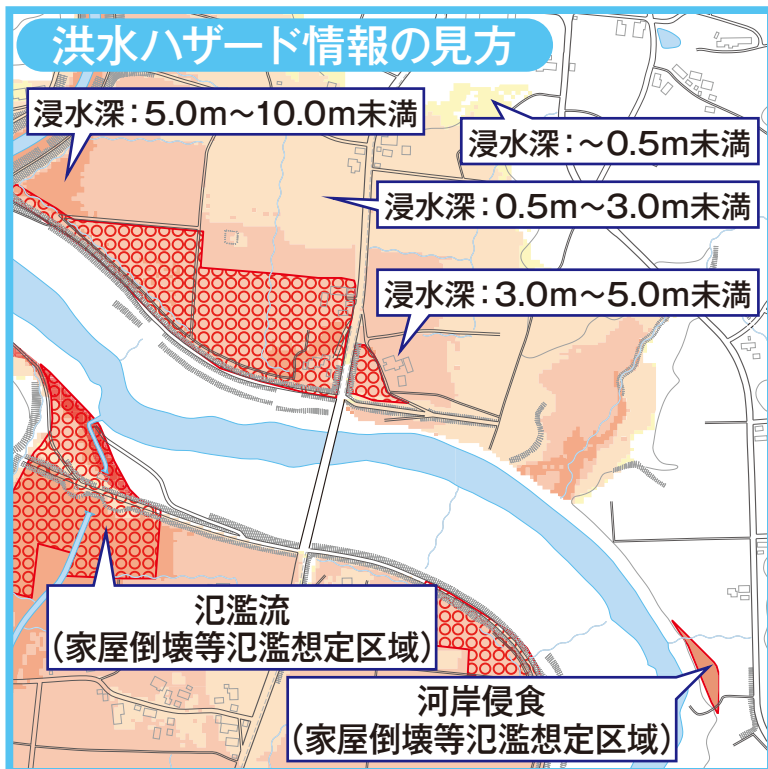
- ① 自宅の位置に印をつけましょう。
- ② 避難所に印をつけ、避難経路を記入しましょう。  
(避難経路を決める際には、できるだけ水路などを避けましょう)
- ③ 実際に避難経路を歩いて、安全を確認しましょう。
- ④ 家族で話し合い、いざという時の避難所や連絡の取り方などを確認しましょう。
- ⑤ 地域みなさんと、災害時や避難時に協力し合うよう話し合いましょう。

こちらからも確認できます

【山辺町地理情報システム】  
ハザードマップ

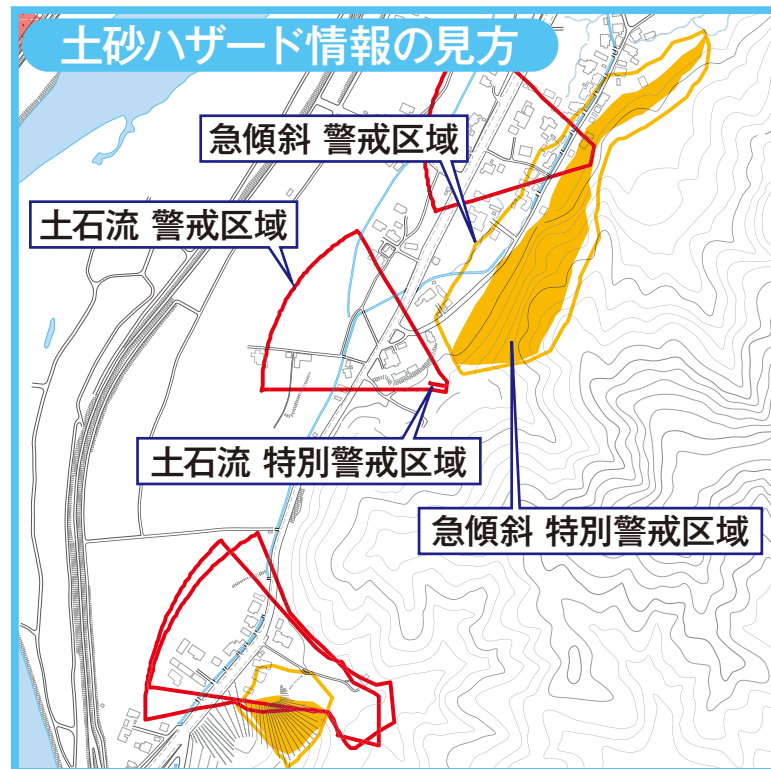


※令和8年3月から運用開始



※洪水・浸水害についての詳細は8頁をご確認ください。

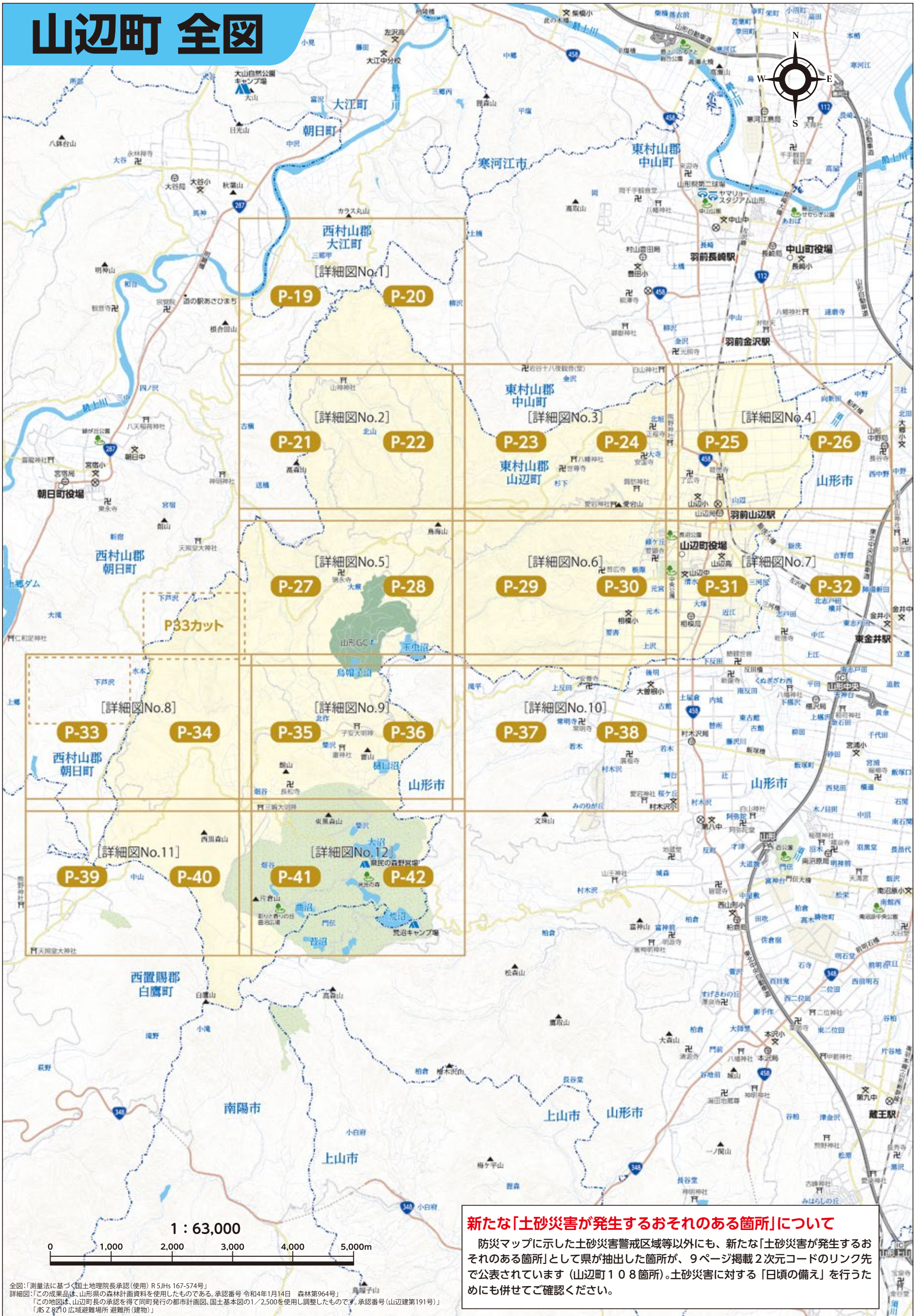
洪水ハザード情報は浸水が想定される区域や浸水深などが記載されています。避難のポイントは浸水する前に避難することです。気象情報等に注意して早めの避難を心がけてください。特に家屋倒壊等氾濫想定区域では浸水深が大きく、早期の立退き避難が必要とされています。



※土砂災害についての詳細は9頁をご確認ください。

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。特に警戒区域内においては避難の猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。

# 山辺町 全図

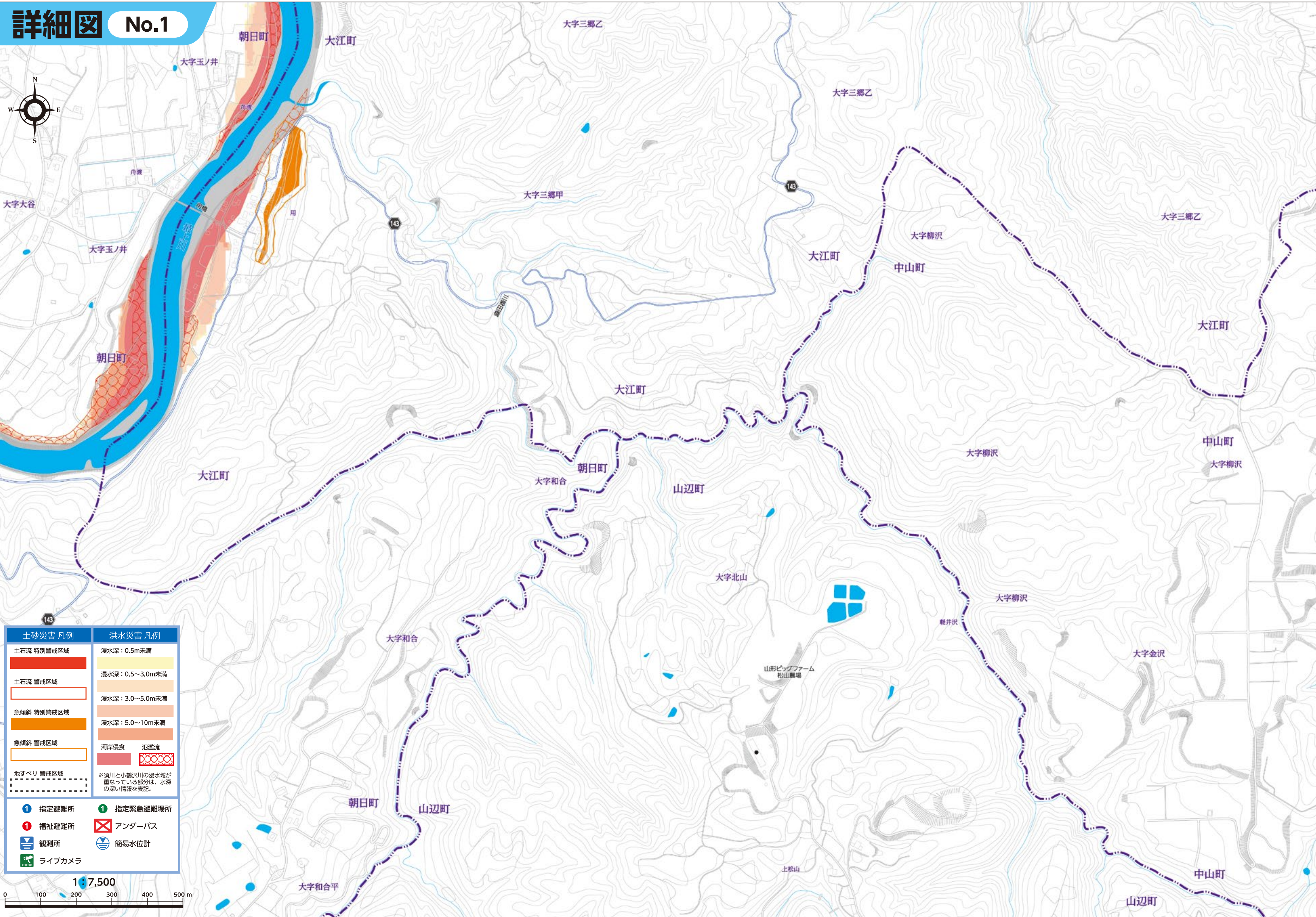


**新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」について**

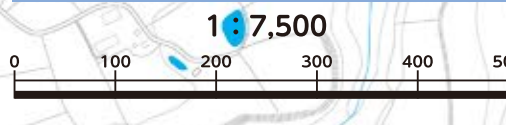
防災マップに示した土砂災害警戒区域等以外にも、新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」として県が抽出した箇所が、9ページ掲載2次元コードのリンク先で公表されています（山辺町108箇所）。土砂災害に対する「日頃の備え」を行うためにも併せてご確認ください。

全図：「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R5JHs 167-574号」  
 詳細図：「この成果品は、山形県の森林計画資料を使用したものである。承認番号 令和4年1月14日 森林第964号」  
 「この地図は、山辺町長の承認を得て同町発行の都市計画図、国土基本図の1/2,500を使用し調整したものです。承認番号（山辺建第191号）」  
 「JIS Z 8210 広域避難場所 避難所（建物）」

# 詳細図 No.1



土砂災害 凡例		洪水災害 凡例	
土石流 特別警戒区域		浸水深：0.5m未満	
土石流 警戒区域		浸水深：0.5～3.0m未満	
急傾斜 特別警戒区域		浸水深：3.0～5.0m未満	
急傾斜 警戒区域		浸水深：5.0～10m未満	
地すべり 警戒区域		河岸侵食	
		氾濫流	
指定避難所	指定緊急避難場所	※須川と小鶴沢川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。	
福祉避難所	アンダーパス		
観測所	簡易水位計		
ライブカメラ			

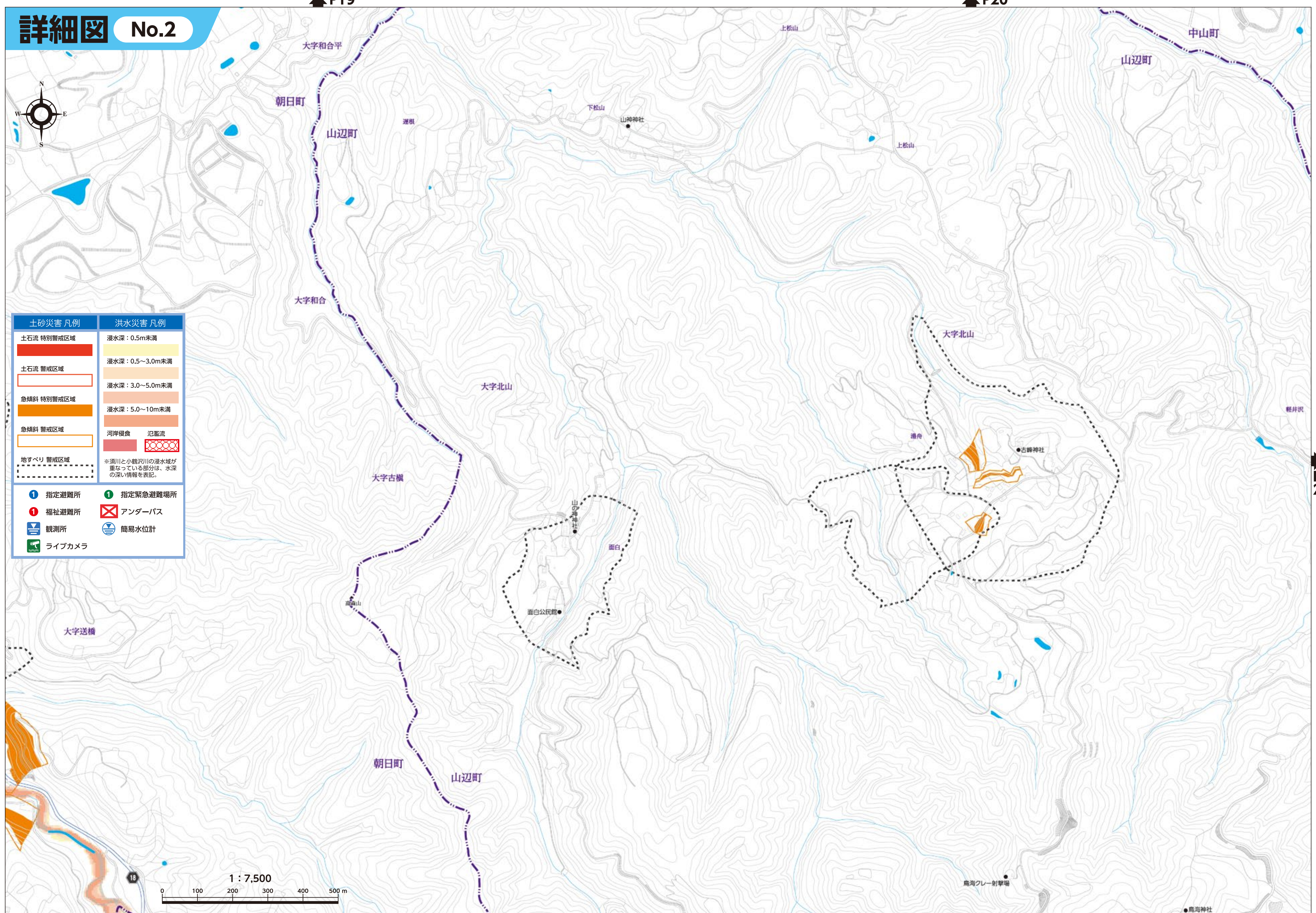


# 詳細図 No.2



土砂災害 凡例	洪水災害 凡例
土石流 特別警戒区域	浸水深：0.5m未満
土石流 警戒区域	浸水深：0.5～3.0m未満
急傾斜 特別警戒区域	浸水深：3.0～5.0m未満
急傾斜 警戒区域	浸水深：5.0～10m未満
地すべり 警戒区域	河岸侵食 氾濫流
指定避難所	指定緊急避難場所
福祉避難所	アンダーパス
観測所	簡易水位計
ライブカメラ	

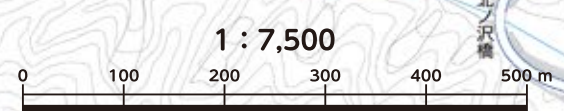
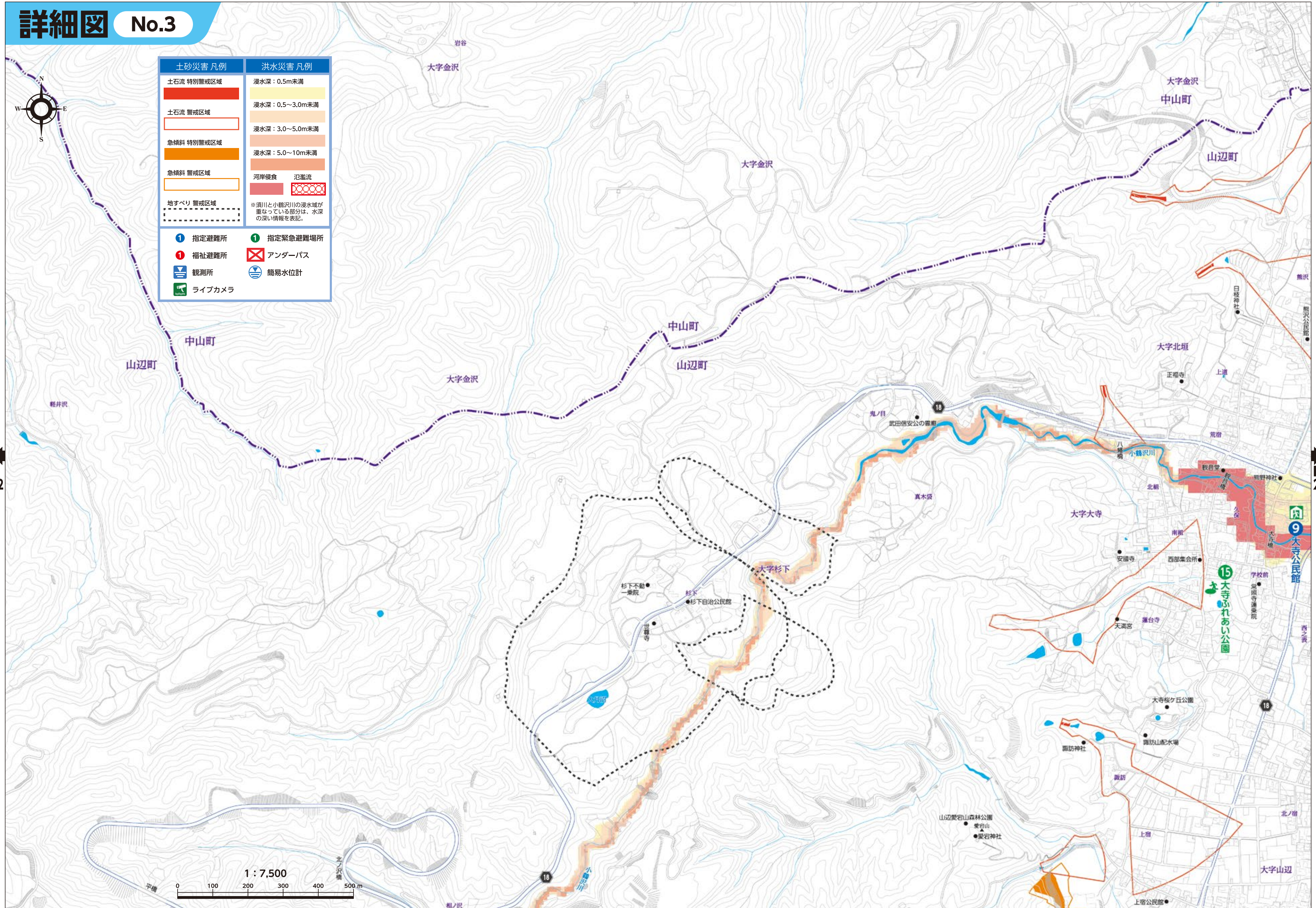
※須川と小鶴沢川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

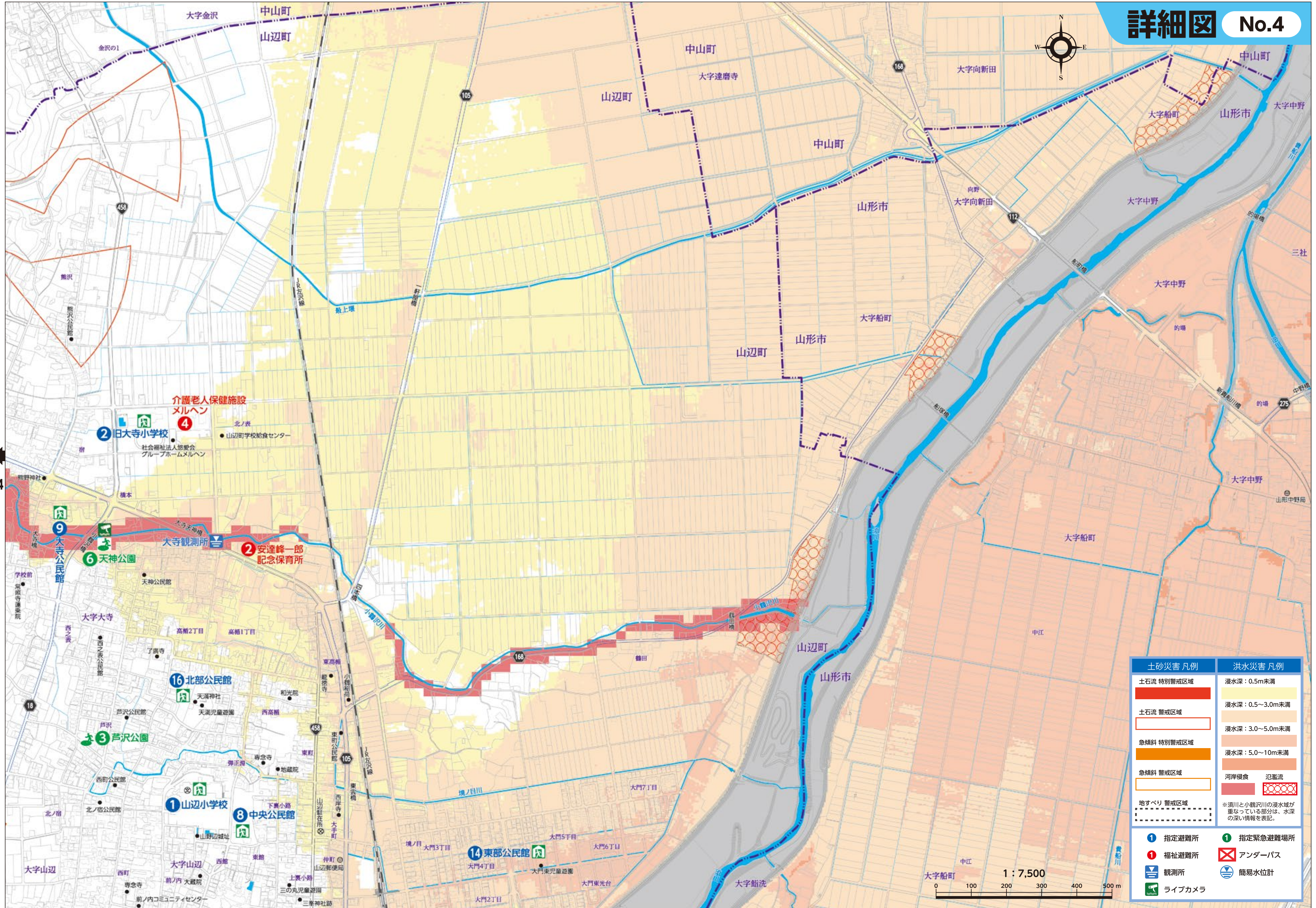


# 詳細図 No.3



土砂災害 凡例		洪水災害 凡例	
土石流 特別警戒区域		浸水深：0.5m未満	
土石流 警戒区域		浸水深：0.5～3.0m未満	
急傾斜 特別警戒区域		浸水深：3.0～5.0m未満	
急傾斜 警戒区域		浸水深：5.0～10m未満	
地すべり 警戒区域		河岸侵食	
		氾濫流	
① 指定避難所	① 指定緊急避難場所	※須川と小鶴沢川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。	
② 福祉避難所	ⓧ アンダーパス		
📷 観測所	📊 簡易水位計		
📹 ライブカメラ			



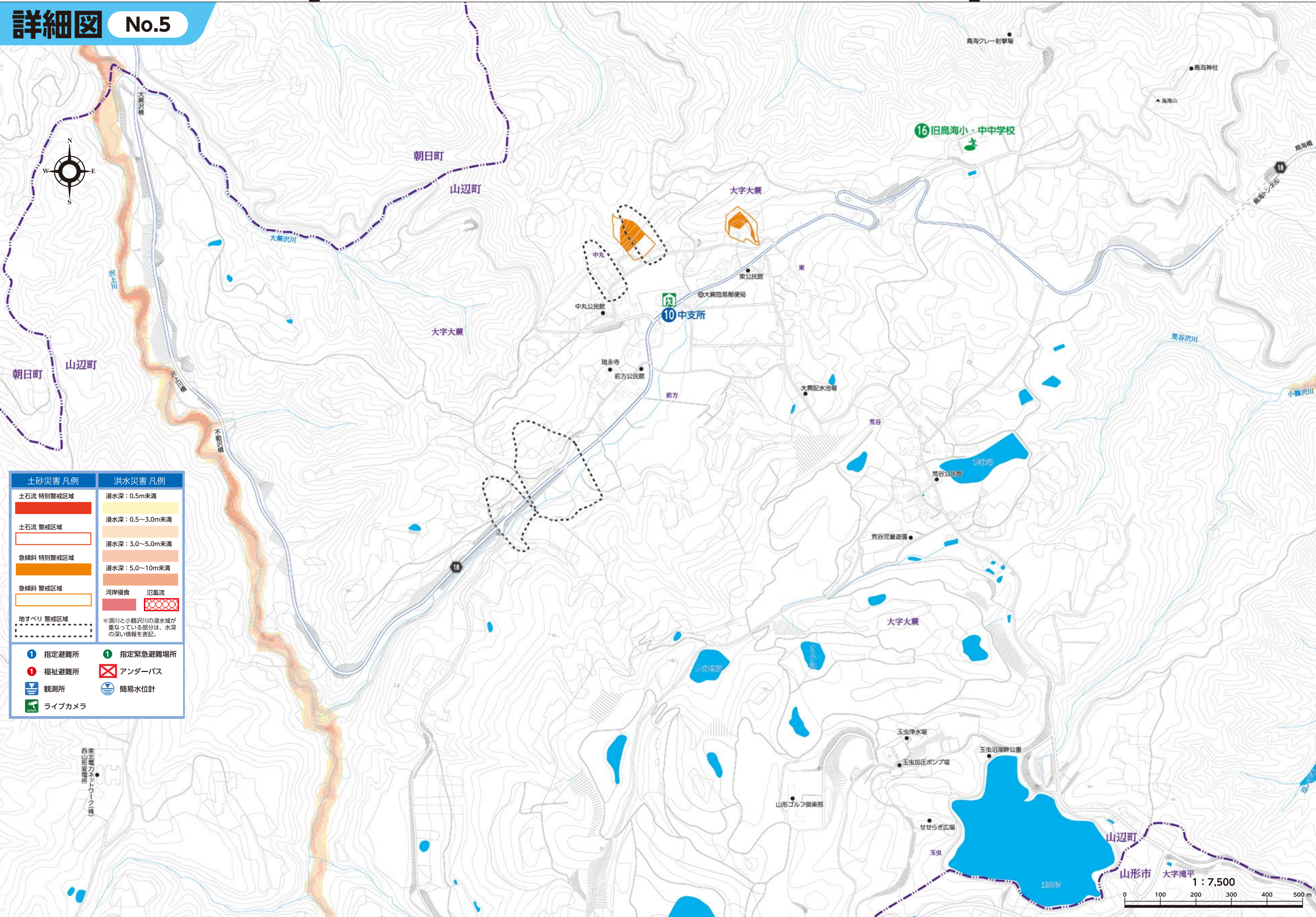


土砂災害 凡例	洪水災害 凡例
土石流 特別警戒区域	浸水深：0.5m未満
土石流 警戒区域	浸水深：0.5～3.0m未満
急傾斜 特別警戒区域	浸水深：3.0～5.0m未満
急傾斜 警戒区域	浸水深：5.0～10m未満
地すべり 警戒区域	河岸侵食
	氾濫流
	※須川と小鶴沢川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。
① 指定避難所	① 指定緊急避難場所
② 福祉避難所	② アンダーパス
③ 観測所	③ 簡易水位計
④ ライブカメラ	

# 詳細図 No.5

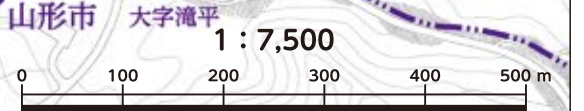
P21

P22



土石流 凡例	洪水災害 凡例
土石流 特別警戒区域	浸水深：0.5m未満
土石流 警戒区域	浸水深：0.5～3.0m未満
急傾斜 特別警戒区域	浸水深：3.0～5.0m未満
急傾斜 警戒区域	浸水深：5.0～10m未満
地すべり 警戒区域	河岸侵食 氾濫流
指定避難所	指定緊急避難場所
福祉避難所	アンダーパス
観測所	簡易水位計
ライブカメラ	

※須川と小鶴沢川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。



P35

P36

# 詳細図 No.6

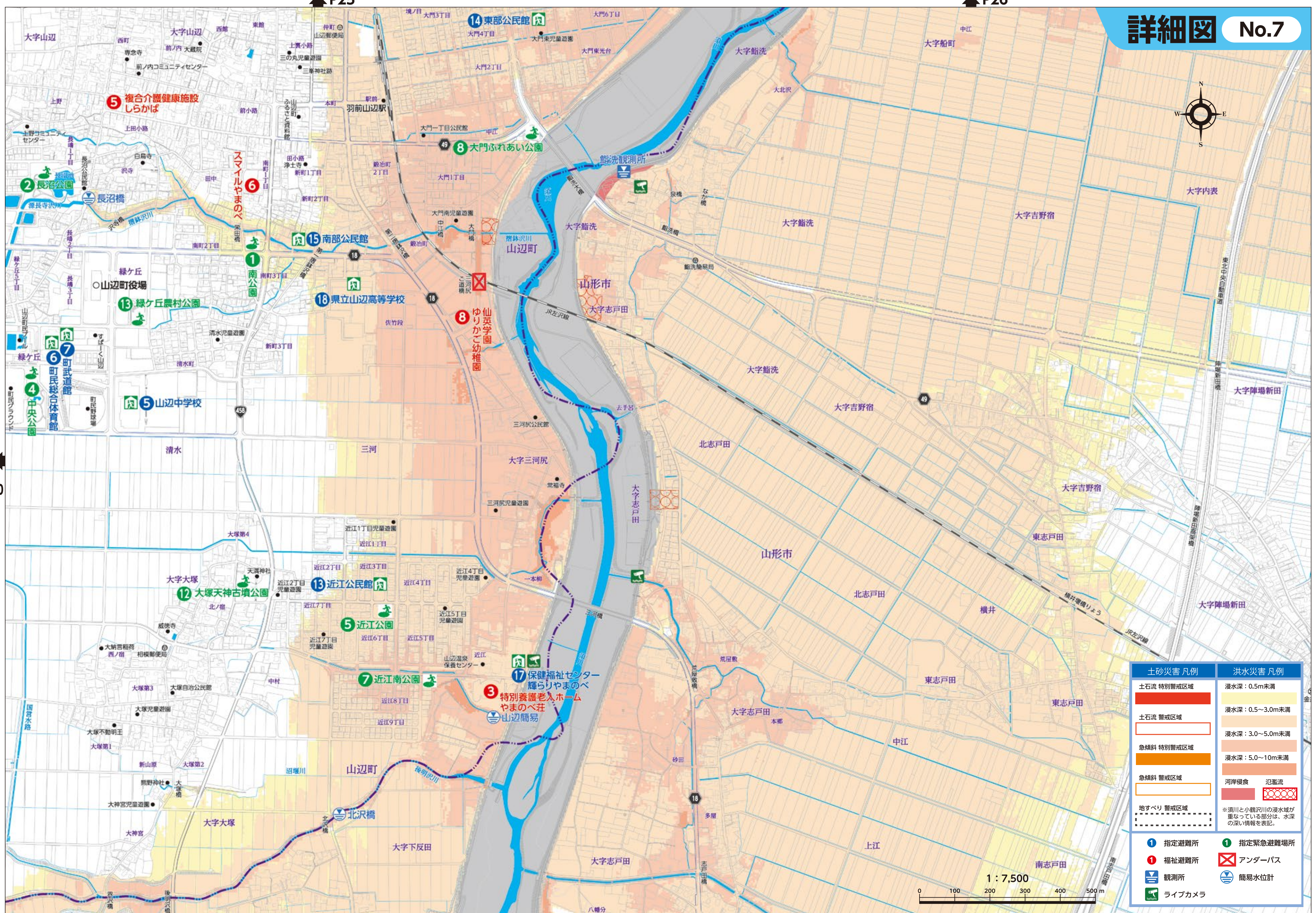


土砂災害 凡例	洪水災害 凡例
土石流 特別警戒区域	浸水深：0.5m未満
土石流 警戒区域	浸水深：0.5～3.0m未満
急傾斜 特別警戒区域	浸水深：3.0～5.0m未満
急傾斜 警戒区域	浸水深：5.0～10m未満
地すべり 警戒区域	河岸侵食 氾濫流
① 指定避難所	① 指定緊急避難場所
② 福祉避難所	アンダーパス
③ 観測所	簡易水位計
④ ライブカメラ	

※須川と小鶴沢川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

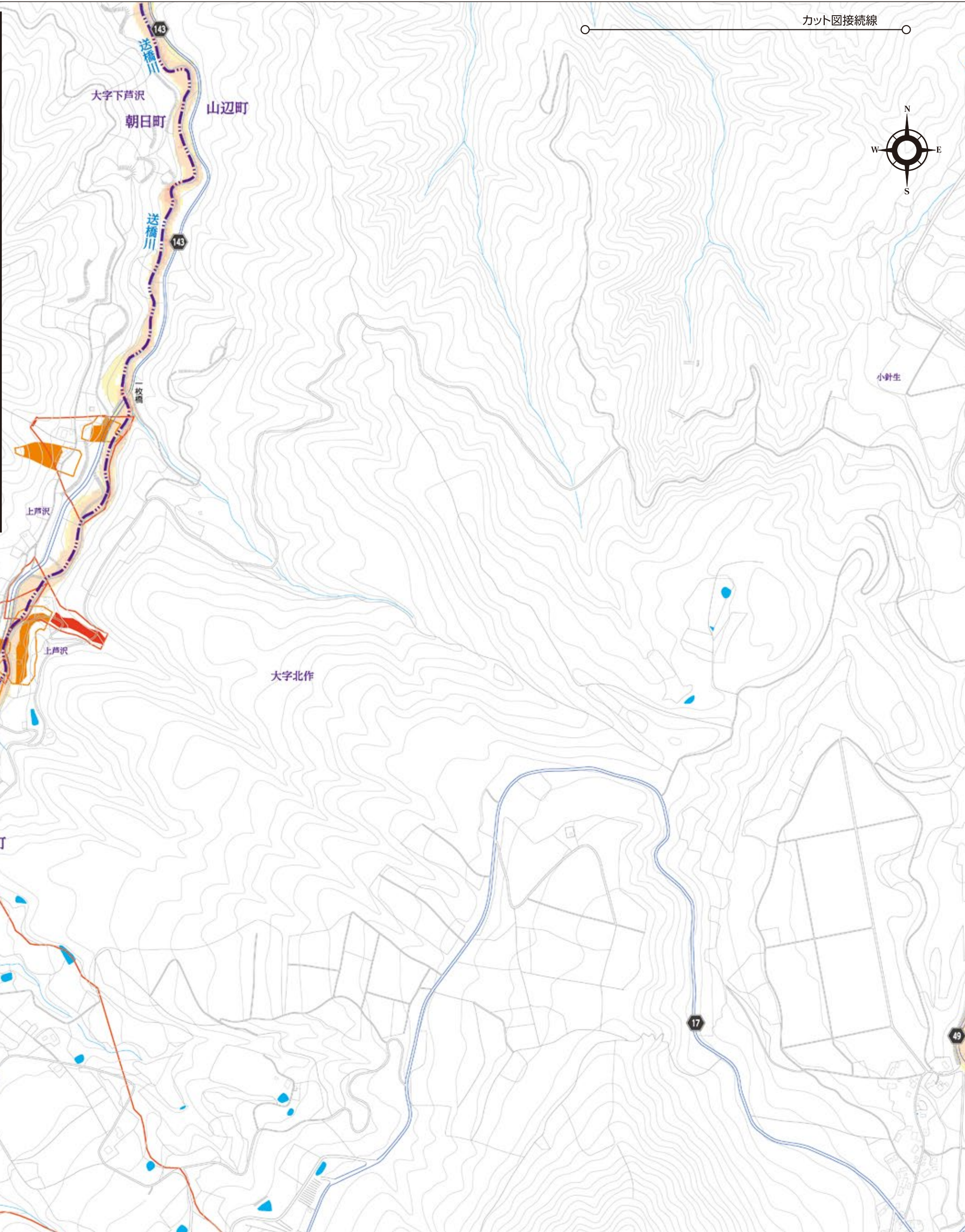
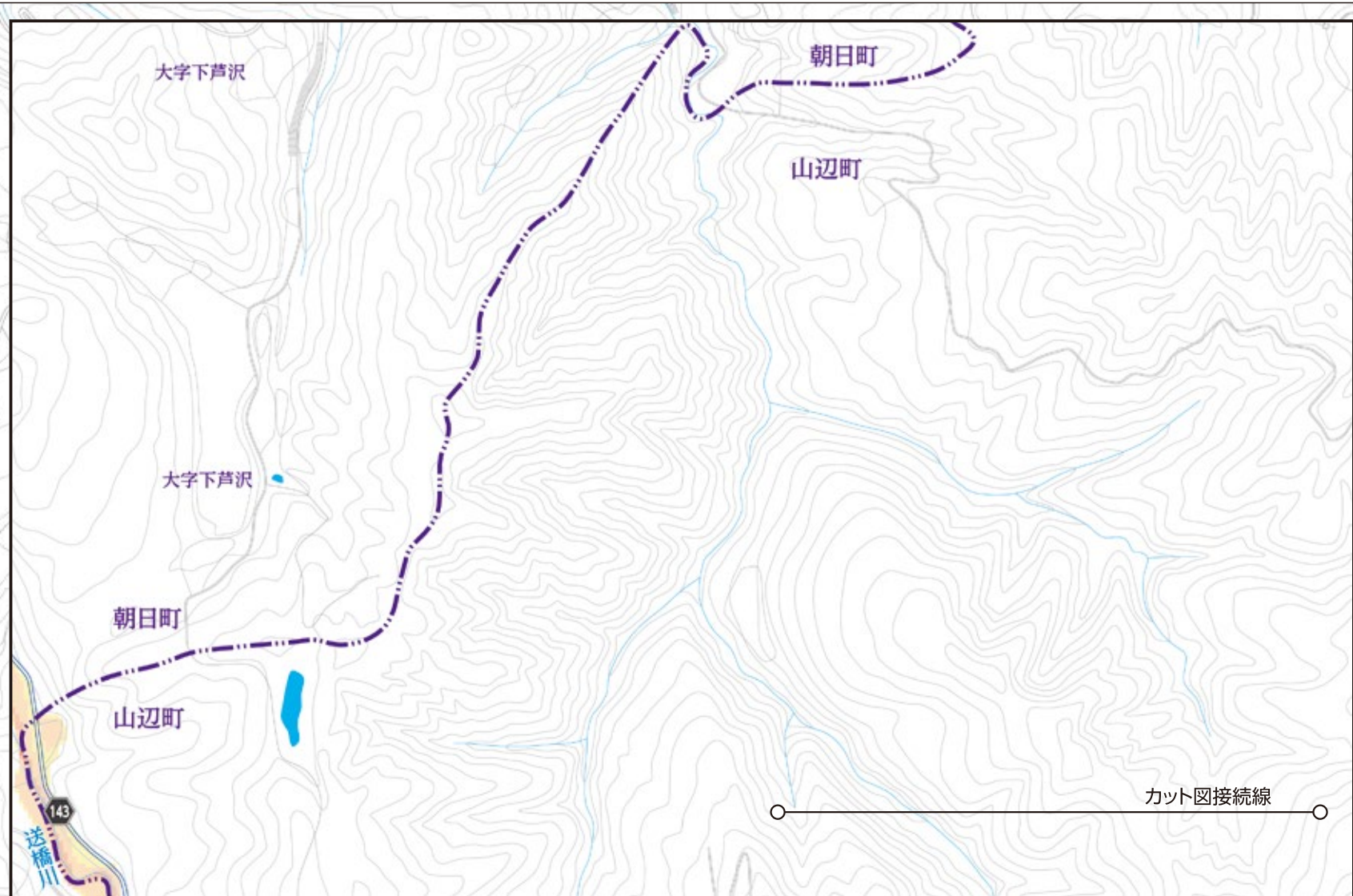
1 : 7,500



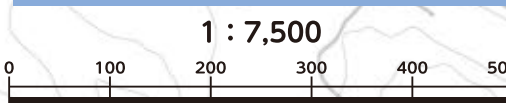


土石災害 凡例	洪水災害 凡例
土石流 特別警戒区域	浸水深：0.5m未満
土石流 警戒区域	浸水深：0.5～3.0m未満
急傾斜 特別警戒区域	浸水深：3.0～5.0m未満
急傾斜 警戒区域	浸水深：5.0～10m未満
地すべり 警戒区域	河岸侵食 氾濫流
	※須川と小鶴沢川の浸水地域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。
① 指定避難所	① 指定緊急避難場所
② 福祉避難所	アンダーパス
③ 観測所	簡易水位計
④ ライブカメラ	

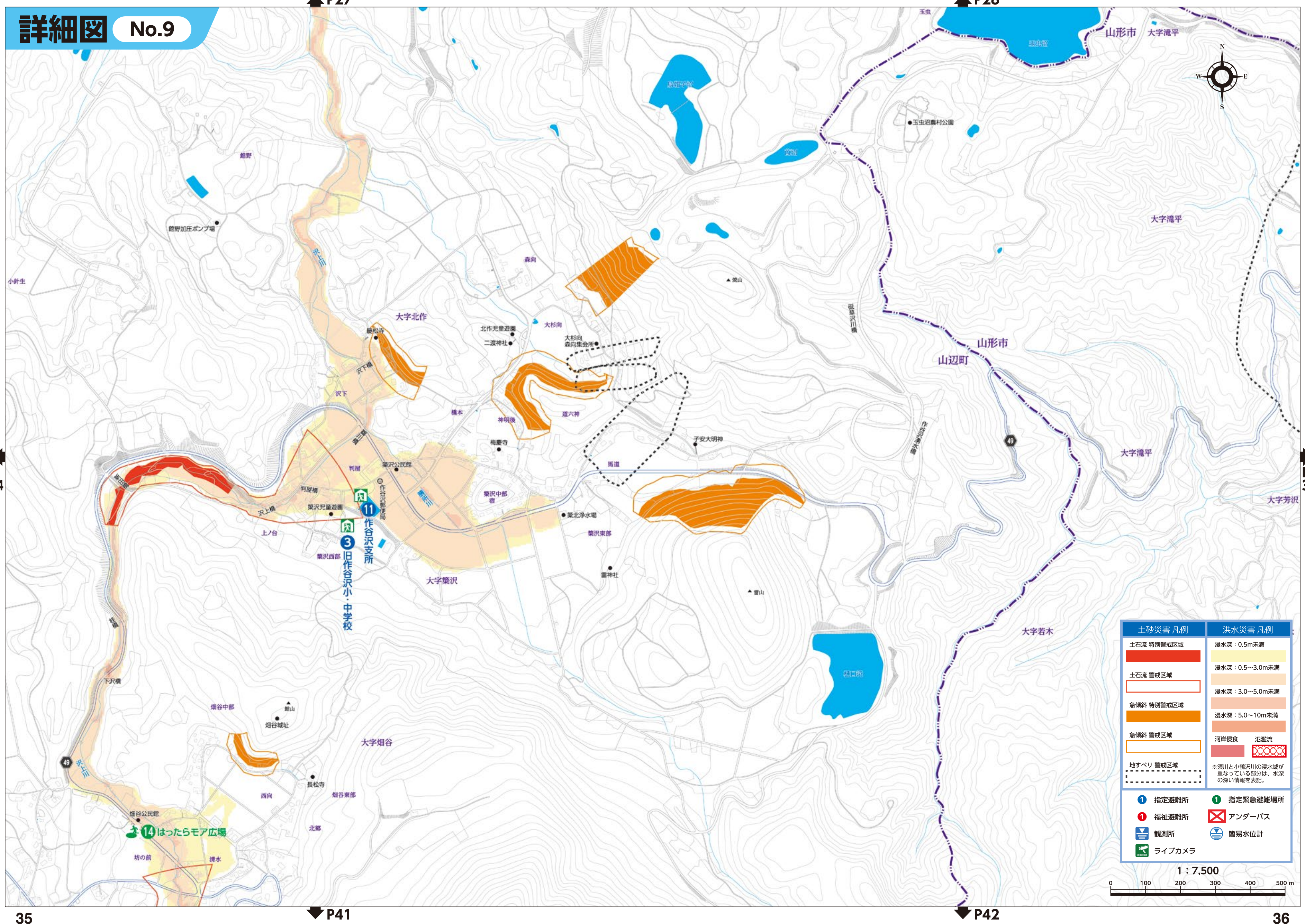




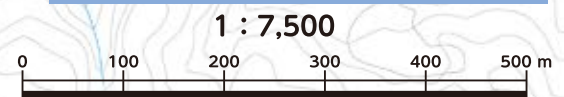
土石災害 凡例	洪水災害 凡例
土石流 特別警戒区域	浸水深：0.5m未満
土石流 警戒区域	浸水深：0.5～3.0m未満
急傾斜 特別警戒区域	浸水深：3.0～5.0m未満
急傾斜 警戒区域	浸水深：5.0～10m未満
地すべり 警戒区域	河岸侵食 氾濫流
	※須川と小鶴沢川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。
① 指定避難所	① 指定緊急避難場所
🚒 福祉避難所	🚧 アンダーパス
📡 観測所	📊 簡易水位計
📹 ライブカメラ	

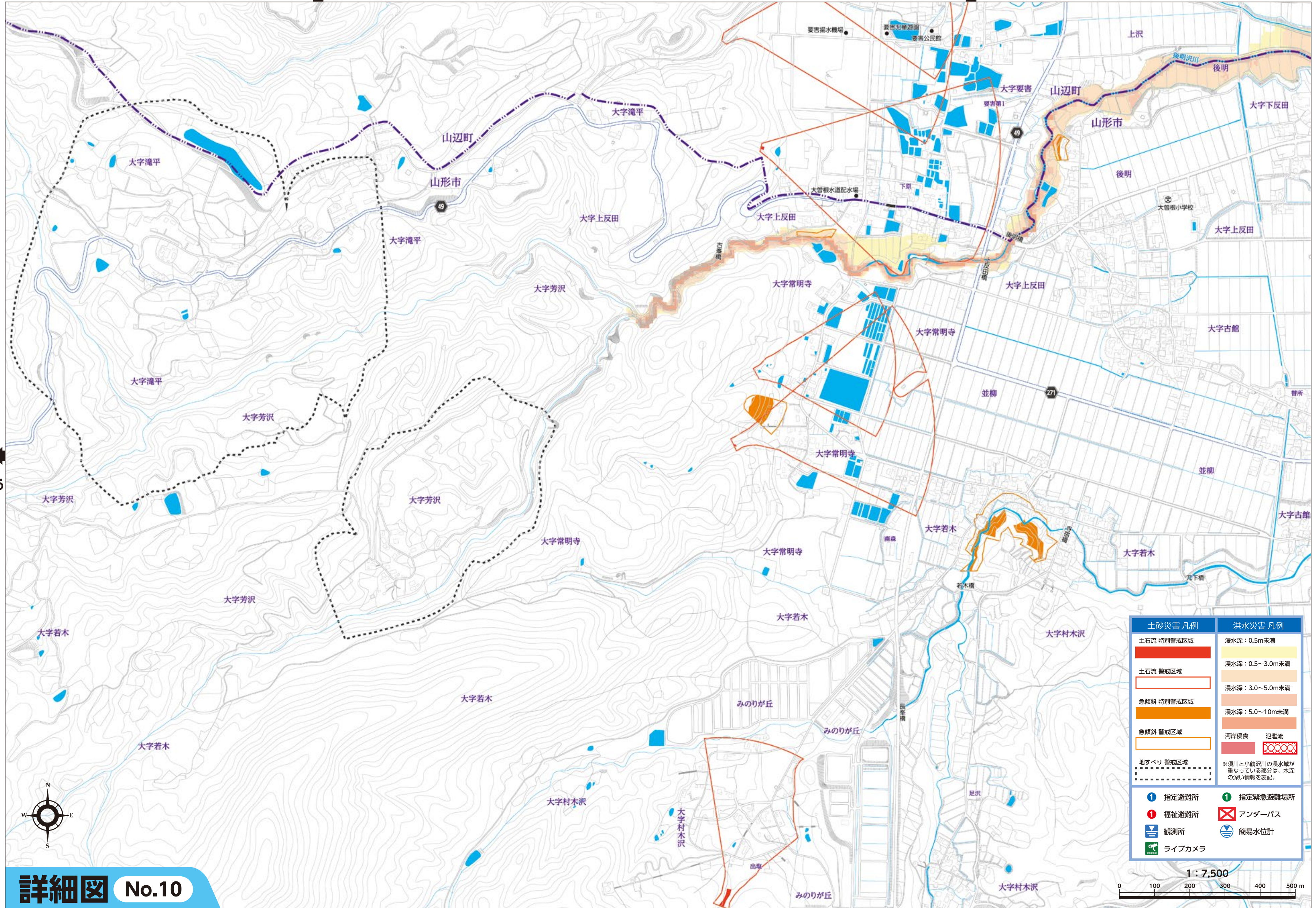


**詳細図 No.8**



土石災害 凡例	洪水災害 凡例
土石流 特別警戒区域	浸水深：0.5m未満
土石流 警戒区域	浸水深：0.5～3.0m未満
急傾斜 特別警戒区域	浸水深：3.0～5.0m未満
急傾斜 警戒区域	浸水深：5.0～10m未満
地すべり 警戒区域	河岸侵食 氾濫流
指定避難所	指定緊急避難場所
福祉避難所	アンダーパス
観測所	簡易水位計
ライブカメラ	





土砂災害 凡例	洪水災害 凡例
土石流 特別警戒区域	浸水深：0.5m未満
土石流 警戒区域	浸水深：0.5～3.0m未満
急傾斜 特別警戒区域	浸水深：3.0～5.0m未満
急傾斜 警戒区域	浸水深：5.0～10m未満
地すべり 警戒区域	河岸侵食 氾濫流
	※須川と小幡沢川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。
① 指定避難所	① 指定緊急避難場所
② 福祉避難所	⊗ アンダーパス
📷 観測所	📊 簡易水位計
📹 ライブカメラ	

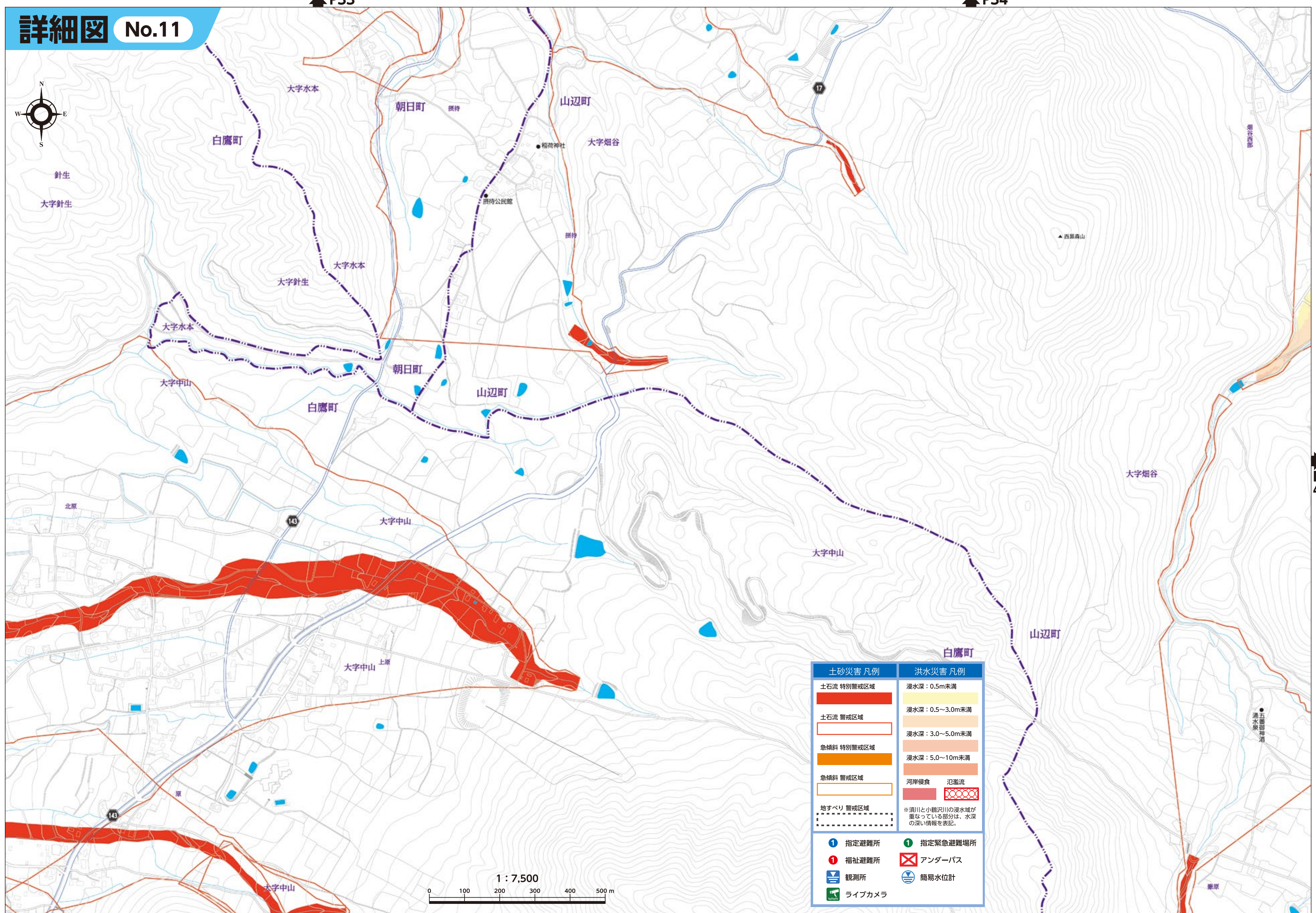
詳細図 No.10

1:7,500



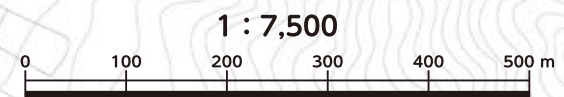


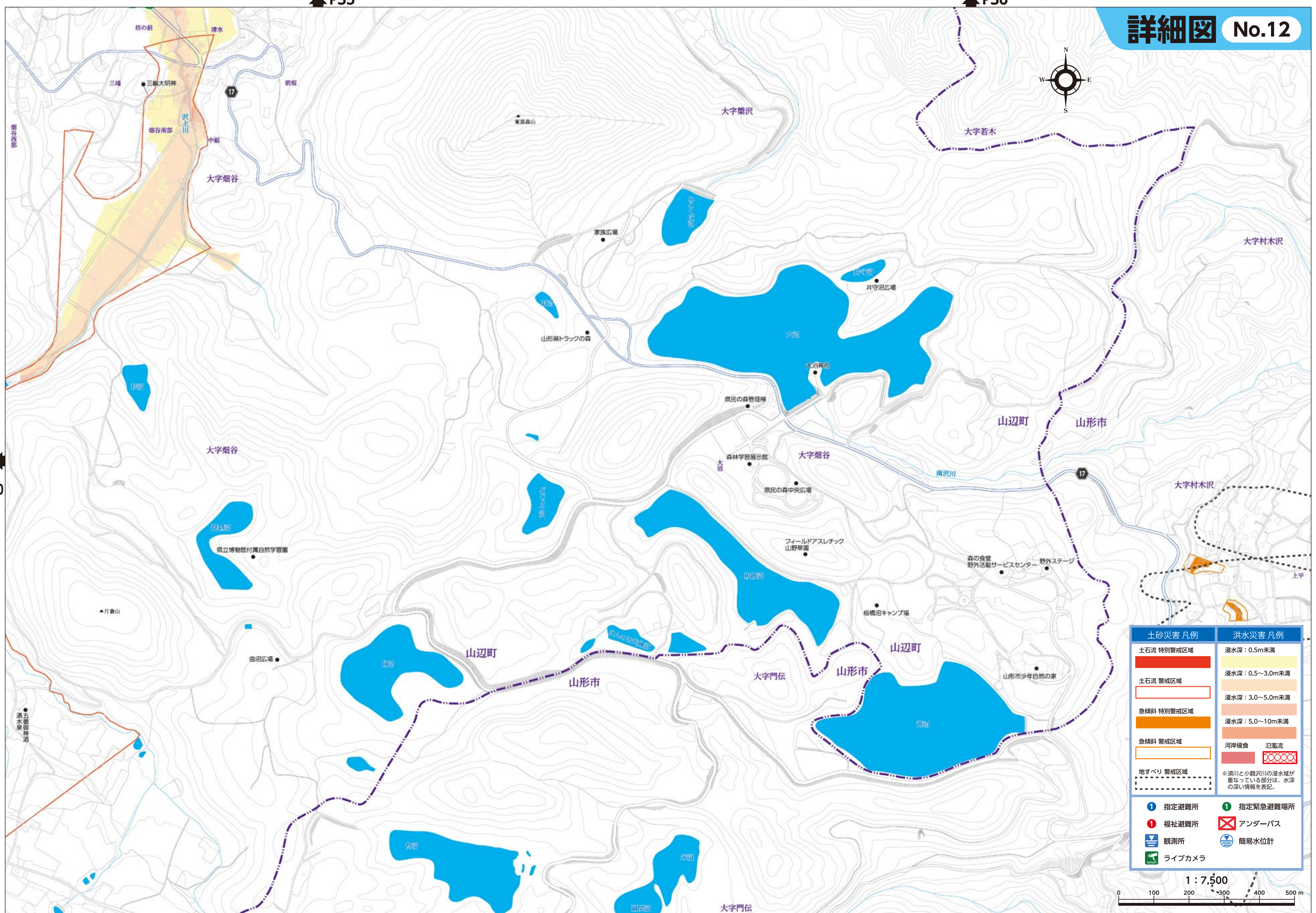
針生  
大字針生



土砂災害 凡例	洪水災害 凡例
土石流 特別警戒区域 	浸水深：0.5m未満 
土石流 警戒区域 	浸水深：0.5～3.0m未満 
急傾斜 特別警戒区域 	浸水深：3.0～5.0m未満 
急傾斜 警戒区域 	浸水深：5.0～10m未満 
地すべり 警戒区域 	河岸侵食 氾濫流 
指定避難所 	指定緊急避難場所 
福祉避難所 	アンダーパス 
観測所 	簡易水位計 
ライブカメラ 	

※須川と小輪沢川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。





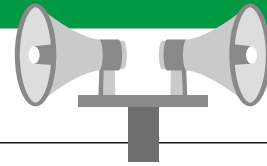
土砂災害 凡例	洪水災害 凡例
土石流 特別警戒区域	浸水深：0.5m未満
土石流 警戒区域	浸水深：0.5～3.0m未満
急傾斜 特別警戒区域	浸水深：3.0～5.0m未満
急傾斜 警戒区域	浸水深：5.0～10m未満
地すべり 警戒区域	河岸侵食 氾濫流
指定避難所	指定緊急避難場所
福祉避難所	アンダーパス
観測所	簡易水位計
ライブカメラ	



# ！ 災害情報の入手方法

## 防災放送

災害発生が予想される場合は、屋外スピーカーにより、避難情報などを一斉に放送します。聞き取れないときは、窓を開けて聞くか、屋外へ出て聞き取る行動をしてください。



### 【主な広報内容】

- 全国瞬時警報システム(Jアラート)で緊急地震速報、特別警報等の広報
- 台風などの気象情報を伝える注意喚起の広報
- 避難行動を呼びかける広報
- 災害対応の訓練、又は訓練に関する広報

屋外スピーカーからの内容が聞き取れなかった場合は、放送の内容を電話で確認できるシステム(自動音声応答システム)があります。



【自動音声応答システム電話番号】

**023-629-0011**

## 山辺町登録制メール

町に関する様々な情報を登録者へ配信します。配信される情報は、分野ごとのカテゴリで区別されており、登録時に「防災」カテゴリを選択することで、災害等の情報を受信することができます。携帯電話やパソコンをお持ちの方は、下記アドレスかQRコードから登録してください。

- 登録サイト(PC・スマホ) <https://plus.sugumail.com/usr/yamanobe/home>
- 登録サイト(携帯) <https://m.sugumail.com/m/yamanobe/home>

PC・  
スマホ



携帯



## エリアメール・緊急速報メール

NTTドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイルの携帯電話をお持ちの方へ、町が発信する限定的な情報を強制的にメール通知します。

## 広報車・消防団の巡回広報

町の広報車、消防団からの広報巡回により、情報を提供します。車両スピーカーも大雨の場合は聞き取りづらい場合があります。窓を開けるなどの行動で確認しましょう。

## インターネットやSNSを利用したリアルタイム情報



気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/>



山形県「こちら防災やまがた!」

<https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/index.html>



気象庁(山辺町の気象警報・注意報)

[https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area\\_type=class20s&area\\_code=0630100&lang=ja](https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=class20s&area_code=0630100&lang=ja)



山辺町ホームページ

<https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



国土交通省川の防災情報

<https://www.river.go.jp/index>



山辺町公式X

[https://x.com/yamanobe\\_town](https://x.com/yamanobe_town)



山形県河川・砂防情報

<http://www.kasen.pref.yamagata.jp>



山辺町公式Facebook

<https://www.facebook.com/yamanobe.town/>



山形県土砂災害警戒システム

<https://sabo.pref.yamagata.jp/pc/Agree.aspx>



山辺町公式LINE

友だち登録は右のQRコードから



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です